

## 居宅介護支援 地域サポート虹

- (1) 事業内容  
 サービス類型(介護保険):居宅介護支援サービス  
 サービス種類:(介護予防) 居宅介護支援  
 事業所名称:居宅介護支援 地域サポート虹  
 事業所番号:1473500633 開設年月日:平成17年10月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成29年10月1日～平成35年9月30日
- (2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町74番17号 サンパレス本郷台107号  
 TEL:045-894-0671 FAX:045-894-0603

- (3) 職員 3名 (常勤1名(訪問介護事業所の管理者兼任)、非常勤2名) (平成30年3月末)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者(介護支援専門員兼務)	常勤1名	1名	0.1名
介護支援専門員	常勤兼務1名、非常勤2名	(うち兼務1名)3名	1.8名
(実人数合計)合計		(3名)4名	1.9名

※( )内は兼務数を引いた実人数「(うち兼務〇名)数を引くと実人数」

※平成29年7月に非常勤1人退職。7月に非常勤職1人雇用。

※常勤換算:週35時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/35時間=常勤換算

- (4) 契約者数(利用者数) 75名(30年3月) 平均年齢:83.7歳

要介護者	47名
予防	28名
合計	75名

※常勤換算1.9名、常勤換算1.0名あたり39名担当

※月請求平均件数(人数)=40.1人

(年間請求件数=481名、平成29年4月実績～平成30年3月実績)

※月平均契約者数=2.9人

(年間新規契約者数=33名)

※月平均退所者数=0.76人

(年間退所者数=9名)

- (5) 運営方針

在宅の介護保険利用者を主として、ご利用者一人ひとりのニーズを捉え、ご利用者の気持ちに寄り添ったケアプランの作成を行った。ご利用者ご本人やご家族の立場に立ったきめ細かい対応が行えるよう、法人内の訪問介護事業所(りんどう)、通所介護事業所(すずらん)、小規模多機能型居宅介護(かりん、くるみ)、また近隣の介護事業所(50ヶ所利用)と連携してケアプランを提供した。

今年度は要支援1.2の方を積極的に受託し、ケアプラザと連携をとりながら、住み慣れた地域で心身ともに自立した生活が送れるように支援を行った。

各地域包括センター、及び地域のインフォーマルサービスにも積極的に連携をはかれるようにケアプラザ、民生委員との集まりにも参加した。

年々、老々介護世帯及び、要介護者の独居世帯が多くなる傾向にある中で、在宅生活を支援していくためには、介護支援専門員のより良いケアマネジメントの資質向上が求められている。そのため、栄区医療連携室主催の研修や、区、ケアプラザの研修にも積極的に参加し、訪問診療の先生、サービス事業所、包括支援センター、地域の方々と顔の見える関係を作ってきた。

管理者は主任介護支援専門員のスーパービジョンの勉強会に参加、ファシリテーターを務め、スーパーバイザーとしての役割を果たすよう努めた。

事業所内では、「報、連、相」を徹底し、困難事例などは、介護支援専門員全員で検討し、よりよい支援ができるように努めた。

- (6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。  
 月曜日～金曜日(祝祭日休み):9:00～17:00

※休日:土日祝日 12月29日30日31日 1月1日2日3日  
 ※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

(8) 利用料金 ※ご利用者は全額公費となり費用は発生しません。利用者負担0円。

※居宅介護支援を提供した場合の利用料の額は、厚生大臣が定める基準によるものとする。

①介護報酬(30年4月に改正)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数 (居宅介護支援事業所収入額)
居宅支援 I 1 : 要介護1又は要介護2	1042単位の100% (11,587円)
居宅支援 I 2 : 要介護3、要介護4又は要介護5	1353単位の100% (15,045円)
初回加算	300単位の100% (3,336円)
退院退所加算	300単位の100% (3,336円)
小規模多機能型連携加算	300単位の100% (3,336円)

※横浜市地域単価=11.12円 ※他にも加算があります。

②介護予防(委託費)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数 (居宅介護支援事業所収入額)
介護予防支援 : 要支援1又は要支援2	430単位の80% (4,130円)
初回加算	300単位の80% (2,882円)
連携加算	300単位の80% (2,882円)

※横浜市地域単価=11.12円

(9) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。

(10) 研修報告

研修報告:内部研修

実施月	研修内容		
4月	資料整理、マニュアル見直し	10月	非常時災害対策について
6月	認知症研修	1月	緊急時対応について
7月	事故発生対応について	3月	介護保険制度の見直しについて

研修報告:外部研修

実施月	研修内容		
29.5.16	栄区居宅介護支援時豪奢連絡会栄ケアネット	30.2.8	多職種による終末期に寄り添い支えるケア
29.7.25	医療との連携について	30.2.22	民生委員とケアマネ交流会
29.9.27	医療連携会議参加(小菅ヶ谷ケアプラザ)		
29.9.26	障害の制度について		
29.10.13	小菅ヶ谷主催地域ケア会議参加		
29.11.16	看護小規模多機能について		
29.11..28	地域包括システムについて		
29.11..28	横浜市認定調査員現任研修について		

(11) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(12) 検討課題

① 介護支援専門員(ケアマネジャー)の確保。

中長期的に常勤職員を1名~2名の確保が命題。

② 新規契約者の獲得、栄区桂町および小菅ヶ谷ケアプラザ圏域を中心とし、日野南ケアプラザ、豊田ケアプラザおよび中野ケアプラザ圏域

### 訪問介護 りんどう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):居宅サービス

サービス種類:(訪問介護相当サービス) 訪問介護

事業所名称:訪問介護 りんどう

事業所番号:1473500641 開設年月日:平成17年10月1日

事業者指定有効期間(6年):平成29年10月1日~平成35年9月30日

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町74番17号 サンパレス本郷台107号

TEL:045-894-7783 FAX:045-894-0603

(3) 職員数

13名 常勤2名(うち1名は居宅介護支援事業所管理者兼務)、非常勤11名

職名	勤務形態	登録人数	常勤換算
管理者 (居宅介護支援事業所管理者兼務)	常勤1名	1名 (居宅介護支援事業所兼任)	0.1名
サービス提供責任者 (訪問介護員兼務)	常勤1名	1名	1.0名
訪問介護員	非常勤11名	11名	1.4名
合計		13名	2.5名

※2017年資格 介護福祉士 8名 ヘルパー2級 4名 (管理者を除く)

※常勤換算:週32時間を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/32時間=常勤換算

(4) 利用者数 23名 平均年齢:85.4歳

内訳 要介護 5名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2人	2人	0人	1人	0人

内訳 要支援 18名

要支援1	要支援2
5人	13人

ヘルパー活動期間 : 平成29年4月1日~平成30年3月31日

ヘルパー活動実績 : 身体介護1(20分以上30分未満 245単位) 150回  
 身体介護2(30分以上60分未満 388単位) 1回  
 生活支援2(20分以上45分未満 183単位) 0回  
 生活支援3(45分以上 225単位) 138回  
 身体1生活1(身体1+生活2 312単位) 227回  
 身体1生活2(身体1+生活3 379単位) 17回  
 身体2生活1(身体2+生活2 455単位) 0回

ヘルパー総活動時間数 : 1258.17時間 ※前年比 +44.74時間

(5) 活動報告

地域の介護保険利用者を主として、住み慣れた家で生活を続けていただけるようお手伝いをするを目標とし活動した。新規の依頼は積極的に受けてきたが、入院や施設入所、お亡くなりになり終了になる等、短期の利用も多かった。新規利用者を増やすため、りんどうと居宅のチラシを作成し、くるみ・かりん・すずらんの運営推進会議に出席。地域の方々に訪問介護りんどうを紹介させていただいた。また、ヘルパー募集のチラシを作成し、虹の連絡会で子育てのスタッフに施設内に貼っていただくようお願いし、にこりんくのチラシを見た母親2名がヘルパー登録に繋がった。4月からの法改正で横浜市訪問型生活援助サービスが始まった。りんどうは人材確保が難しく、上記サービスは今の段階では行なわない。要支援の方対象の相当サービスを行なわない事業所が増える中、りんどうは相当サービスを更新し要支援の方も変わらず受けしていく。

(6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。

事務所活動時間 : 月曜日～金曜日(祝祭日休み): 9:00～17:00  
 ヘルパー活動時間 : 月曜日～金曜日 : 8:00～17:00  
 ※休日及び時間外は留守番電話の対応。

(7) サービス提供地域 横浜市栄区・港南区(但し、港南区は日野南5丁目から7丁目のみ)

(8) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。

参考

「支出:ヘルパー時給」	「収入:介護報酬」(単位×11.12円)
身体介護 : ¥1,600	388単位 = ¥3,758
生活援助 : ¥1,200	225単位 = ¥2,502
訪問型サービス : ¥1,200	1168単位(1ヶ月) = ¥13,344

※平均時給額 : ¥1,692 (総支払給与額÷延べサービス提供時間・事務含まず)

(9) 研修報告

事業所は、従業員の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、実施した。

継続研修

実施月	内容	実施月	内容
4月18日	訪問介護の心得 (個人情報保護・法令順守を含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方 その他 連絡事項	10月16日	身体介護の介護技術とボデイメカニクス その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項
6月13日	感染症と食中毒の予防・防止について (事例検討含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方について その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項	12月12日	認知症について ヒヤリハット報告・連絡事項
9月11日	事故発生防止と緊急対応・リスク管理について ヘルパー自己チェック その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項	H30.2月13日	高齢者虐待について ヒヤリハット報告・連絡事項

外部研修

- ・H29・4月20日 栄区訪問介護連絡会: 総会・研修: ヒヤリハット 事故 事例検討会
- 4月13日 フルライフ主催: 介護員が出来る事、できない事。 木村内科・胃腸科 木村先生の話。
- 7月14日 栄区訪問介護連絡会: 高齢者虐待について。
- 10月10日 横浜市質の向上セミナー: 認知症と共に生きる 認知症である私が皆さんに伝えたい事。
- H30.1月26日 横浜市質の向上セミナー: 認知症になっても、自分らしく生きる。

## 通所介護 すずらん

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防)地域密着型通所介護  
 事業所名称:通所介護 すずらん  
 事業所番号:1473500674 開設年月日:平成18年1月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成30年1月1日～平成35年12月31日  
 介護予防通所介護 開設年月日:平成18年4月1日  
 事業者指定有効年月日(6年):平成30年4月1日～平成35年12月31日  
 ※平成28年1月から第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス)  
 ※平成28年4月から地域密着型通所介護  
 ※平成29年10月地域密着型通所介護指定更新 平成30年1月横浜市通所介護相当サービス指定更新

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町279-4 TEL/FAX 045-894-7480

(3) 職員 17名 (常勤1名、非常勤16名) (平成29年3月末)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (看護職員・機能訓練指導員兼務)	常勤兼務1名	(1名兼務) 1名	0.4名
生活相談員 (介護職員兼務)	常勤兼務1名、非常勤兼務4名	(5名兼務)(うち兼務1名) 5名	0.8名
看護職員 (管理者1名)(機能訓練指導員兼務)	常勤兼務1名、非常勤兼務2名	(2名兼務)(うち兼務1名) 2名	0.4名
介護職員 (事務職員・送迎ドライバー兼務) (生活相談員4名)	非常勤兼務6名、非常勤5名	(6名兼務)(うち兼務4名) 11名	3.8名
機能訓練指導員 (管理者1名、看護職員1名、理学療法士1名)	常勤兼務1名、非常勤兼務1名、 非常勤専従1名	(うち兼務2名) 3名	0.3名
事務職員 (介護職員3名)	非常勤兼務 3名	(うち兼務3名) 3名	0.3名
送迎ドライバー (介護職員3名)	非常勤兼務 3名、非常勤 5名	(うち兼務3名) 8名	0.7名
(実人数合計)合計		(19名)33名	6.7名

※( )内は兼務数を引いた実人数 ※(うち兼務〇名)数を引くと実人数

※常勤換算:週35時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/35時間=常勤換算

※平成29年4月1名、6月1名、11月1名の介護職員、平成30年2月1名送迎ドライバーの採用

(4)利用者実数 (平成29年3月まで 開催日242日) 平均年齢:86.9歳(69歳～98歳)

要介護者(介護)	2136名	8.8人/1日
要支援者(予防)	329名	1.35人/1日
合計	2465名	10.18人/1日

(5)活動報告

ご利用者の方々に、心身のよりよい状態を維持していただけるよう、ご利用者とご家族と居宅介護支援事業所と常に連携を図りデイサービスを実施した。曜日ごとの特徴を生かし、豊富なプログラムを組み合わせ、ご利用者の希望に沿った活動を楽しみ参加できるように努めた。安心して入浴出来る設備とサポート体制を整え、入浴介助を実施した。新規利用者の確保のための営業活動の一環として、ホームページの充実を図り問い合わせが増えた。地域との連携や運営の透明性を確保するために、運営推進会議を5月と11月に実施した。運営推進会議のメンバーの方の好意で、地域に配布する広報誌にすずらんの紹介記事を掲載。その記事を読

んだ方からの問い合わせもあった。虹以外の居宅支援事業所の利用者も増えている。見学に来た方は利用につながっている。介護職員は同じ地域に住むヘルパーを中心に、ボランティアの方にも加わっていただき、各種プログラムの講師も地域の方をお願いするなど、地域とのつながりを大切に、心のこもったディサービスを実施した。介護職員の勉強会を実施し、外部の研修参加も積極的に行い、質の向上を目指した。食事に関しては、旬の食材を生かした丁寧な調理で、食べやすく工夫した昼食を提供した。

- (6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。
  - ・サービス提供時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))10:00～15:30(5時間以上サービス区分)
  - ・営業時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))8:30～16:30
    - ※休日:土日祝日 12月29日30日31日 1月1日2日3日
    - ※休日及び営業時間外は留守番電話の対応
- (7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部
  - ・平成29年度実施地域は栄区、港南区
- (8) 利用料金
  - ※厚生大臣が定める基準によるものとし、法定代理受理サービスであるときは、その1割または2割の額とする。

①介護報酬 小規模型通所介護費(1回につき) (5時間～7時間未満)

1回利用あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)	内容
要介護1	641単位(688円)(1,375円)	1日につき
要介護2	757単位(812円)(1,623円)	1日につき
要介護3	874単位(937円)(1,874円)	1日につき
要介護4	990単位(1,062円)(2,123円)	1日につき
要介護5	1,107単位(1,187円)(2,374円)	1日につき
入浴介助加算	50単位(54円)(108円)	1回につき
サービス提供体制強化加算(I)イ	18単位(20円)(39円)	1日につき
送迎減算	-41単位/片道(-51円)(-101円)	片道につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。  
 ※平成27年8月から介護保険の負担割合の導入により介護報酬額をその1割または2割の額とする  
 ※平成29年度2割負担者5名(平成28年度2割負担者5名)

②介護予防 介護予防通所介護費(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)	内容
要支援1	1,647単位(1,766円)(3,531円)	1月につき
要支援2(週1回程度)	1,647単位(1,766円)(3,531円)	1月につき
要支援2(週2回程度)	3,377単位(3,621円)(7,241円)	1月につき
運動器機能向上加算	225単位(242円)(483円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(I)イ 要支援1	72単位(78円)(155円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(I)イ 要支援2	144単位(155円)(309円)	1月につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。  
 ※平成27年8月から介護保険の負担割合の導入により介護報酬額をその1割または2割の額とする  
 ※平成29年度2割負担者1名(平成28年度2割負担者0名)

③介護職員処遇改善加算(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	内容
介護職員処遇改善加算(I)	(介護報酬総単位数×5.9%(0.059))×10.72円

※平成29年4月から介護報酬改正に伴い4.0%が5.9%へ変更になる。

- (9) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。
- (10) 研修報告および年間行事報告
  - 研修報告
    - ・従業者の質的向上を図るため、月1回のミーティング時にテーマを決め 勉強会を行った。

①採用時研修

実施月	研修内容		
採用月	地域サポート虹の組織運営方針について 1日の流れ、仕事内容について リーダーにつき仕事に就く	採用から1ヶ月以降	送迎車の添乗研修 他事業所にて1日研修

※平成29年4月1名、6月1名、11月1名介護職員採用

②継続研修およびケース会議毎月1回

実施日	研修内容		
4月26日	外部 介護職員の出来ること(フルライフ)入浴介助について	10月25日	トイレ介助と排泄管理
5月29日	個人情報の保護、プライバシー保護	11月27日	介護フォーラム参加 介護の日&よこはま健康スタイルフォーラム
6月27日	外部 地域密着型サービス質の向上セミナー 高齢者虐待防止と権利擁護について	11月27日	感染症と食中毒その予防について
6月28日	倫理規定および法令遵守について	12月26日	身体拘束、高齢者虐待 虐待防止一斉点検実施
8月22日	外部 地域密着型サービス質の向上セミナー 介護職員として基礎研修1	1月25日	事故発生予防等、緊急時の対応について
8月24日	外部 地域密着型指定更新管理者研修	2月9日	外部 横浜市30年度介護報酬改定講演会
8月25日	外部 地域密着型サービス質の向上セミナー 介護職員として基礎研修2	2月14日	H28年度横浜市地域密着型サービス事業者等 集団指導講習会 (神奈川県立青少年センター)
8月28日	認知症について	2月27日	業務マニュアル見直し
9月27日	防災訓練について、非常災害時について	3月28日	来年度の計画

年間行事報告

実施月	イベント内容		
4月	お花見外出(いたち川沿い、鎌倉中央公園、鎌倉霊園)、手芸作品(チューリップ、こいのぼり)	10月	手芸作品(紅葉、ハロウインの壁絵、柿の折り紙、紙粘土の招き猫)、情報公表、指定更新 すずらん通信配布
5月	お花見外出(大船フラワーセンター)、手芸作品(あやめの短冊、着物の根付、紫陽花)運営推進会議	11月	栄区作品展の見学、秋の散策外出(鎌倉中央公園)、手芸作品(ポインセチアのリース、ベルと柵、雪の結晶)、運営推進会議
6月	紙芝居アンサンブル、手芸作品(ゆりの花、あじさい)	12月	ご家族参加によるクリスマス会(トーンチャイム、紙芝居アンサンブル、書道、絵手紙、フラワーアレンジ)、手芸作品(クリスマス飾り、干支、松ぼっくりのお正月飾り、羽根突きの貼り絵)
7月	七夕飾り、手芸作品(朝顔の吊るし絵、お花のマグネット)、すずらんアンケート実施、すずらん通信配布	1月	正月遊び、安木節ボランティア、手芸作品(椿の花、折り紙鬼、犬だるま、ちりめんのお守り)、すずらん通信配布、指定更新
8月	手芸作品(ひまわり、ハスの花と金魚、ドリームキャッチャー、船頭さん)	2月	節分遊び、手芸作品(お雛様、吊るし雛、リボン付きカゴ)
9月	各曜日防災訓練の実施、手芸作品(コスモスの壁絵、リース、窓飾り)	3月	ひな祭り、お花見外出(いたち川、鎌倉霊園)手芸作品(桜の花)、フラワーアレンジメント

- ・誕生会として、各月の該当月生まれの方をお祝いした。(写真入りメッセージカードのプレゼント)
- ・毎月季節にあった手芸作品を作成している。  
すずらんの棚や壁に展示したり、各自作って持ち帰っていただける作品を工夫し提供した。
- ・11月末から年末にかけて、来年の干支(押絵)の作品をほぼ全員作った

(12) 介護サービス情報の公表等

- ・平成29年10月調査実施。公表日 平成30年1月

グループホーム さくらそう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス

サービス種類:(介護予防)認知症対応型共同生活介護

事業所名称:グループホーム さくらそう

事業所番号:1493100067 開設年月日:平成19年12月1日

事業者指定有効期間(6年):平成25年12月1日~平成31年11月30日

(2) 所在地 〒234-0054 横浜市港南区港南台1-10-8・TEL/FAX 045-830-5277

(3) 職員 12名(男性2名、女性10名)(常勤3名(うち1名短時間正社員32時間)、非常勤9名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (介護職員兼務)	常勤兼務1名	(1名兼務)1名	0.4名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤(短時間正社員)1名 非常勤1名	(2名兼務)2名	0.4名
看護師	非常勤1名	1名	0.1名
介護職員	常勤2名・非常勤9名	(うち兼務3名)11名	5.7名
合計(実人数合計)		15名(12名)	6.6名

※(うち兼務〇名)数を引くと実人数

※介護支援専門員:3名、介護福祉士:5名、ヘルパー1級:1名、ヘルパー2級:9名、准看護師:1名

※介護職員基礎研修:1名

(4) 利用者数 定員6名 利用者6名(満床) (男性 0名、女性6名)

要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	0名	0名	2名	3名	1名

※平均年齢:84.8歳(81歳、83歳、83歳、85歳、87歳、90歳)H30年3月実績

※年間稼働率 99.5%=(365\*6-12)/365\*6 (入院TO様3日、入居待ち9日 合計12日間)

(5) 運営方針

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の下で、食事、入浴、排泄等の日常生活の介護及び日常生活の中での心身等の機能訓練及び作業療法を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことが出来るよう支援することを目的とする。閉鎖的ではなく開放的に環境、家庭的な雰囲気、季節感を大事にし、寄り添い中心した介護、介助を行い、ターミナルまでできる限りの対応を行う。

※外部の人間の出入りを積極的に行う。家族を中心に、ボランティア、研修生の受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。

※職員の多くが地域の主婦で構成し、地域性、家庭的な雰囲気を、メリットと意識し運用。

※主治医、看護師、家族と連携相談を行い、できる限りターミナルを意識し運用。

(6) 営業時間(年中無休) 24時間 365日(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

(7) 入居条件

認知症と診断されている方で、介護保険の要支援2以上の方  
少人数による共同生活を営むことに支障がないこと。

自傷他害の恐れがないこと。

常時医療機関において治療をする必要のないこと。

※医師の診断書が必要です。※横浜市に住民票がある方。



(8) 利用料金(収入内訳)

- ① 介護保険の一割または二割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による  
 要支援 2:24,281 円/48,562 円 要介護 1:24,410 円/48,820 円 要介護 2:25,568 円/51,135 円  
 要介護 3:26,307 円/52,614 円 要介護 4:26,854 円/53,708 円 要介護 5:27,401 円/54,801 円
- ② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による  
 医療連携体制加算:1,254 円/2,508 円  
 認知症対応サービス提供加算:192 円/384 円  
 認知症対応型認知症専門ケア加算:96 円/192 円  
 認知症対応処遇改善加算 I : 所定単位数の 1000 分の83に相当する単位数  
 初期加算(初回利用日から 30 日間):963 円/1926 円
- ③ 保険外の費用(月額)  
 ・家賃:70,000 円~83,000 円 ・食材費:36,000 円 ・光熱水費:17,000 円 ・共益費:15,000  
 ・その他実費費用:レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)  
 日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)
- ④ 入居時費用  
 入居金 276,000 円~302,000 円  
 ※ ③の保険外の費用(月額 138,000 円~151,000 円)×2ヶ月分 ※敷金的な費用です。

(9) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。

(10) 年間行事

実施月	イベント内容		
4 月	お花見(北公園)	10 月	ハロウィン
5 月	子供の日(自治会イベント:北公園)	11 月	夜間想定避難訓練・交流会
6 月	七夕かざり・夜間想定避難訓練	12 月	クリスマス会
7 月	夏祭り(自治会イベント:北公園)	1 月	正月・獅子舞・交流会
8 月	納涼会	2 月	豆まき
9 月	敬老の日(自治会イベント)・交流会	3 月	ひな祭り・交流会

※誕生会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝する ※誕生日ケーキをおやつにする

(11) 研修 事業所は、従業者の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後1ヶ月以内 ②ケース会議 毎月1回

実施月	研修内容		
4 月	既往症と生活管理(服薬知識含む)	10 月	重度化に対応する介護と医療の連携
5 月	緊急時対応(気道確保の姿勢、通報手立て)	11 月	ターミナル介護とバーンアウト
6 月	身体拘束と高齢者虐待	12 月	守秘義務と倫理規定、虐待防止
7 月	チームケアとレスパイトケア	1 月	ボデイメカニクスを学ぶ
8 月	介護保険制度とは(就業者として知るべき事)	2 月	楽しく有効なレクリエーション
9 月	口腔ケアの重要性(誤嚥を防ぐ)	3 月	リフレーミングから学ぶ傾聴

※07月~12月 神奈川県介護支援専門員研修課程 I、II:1人

※09/29,10/06 横浜市港南区役所 感染症予防研修会基礎編、実技編:1人

※02/13 平成29年度横浜市地域密着型サービス事業者等集団指導講習会:1人

(12) 外部監査等対応

- ① 平成29年6月 外部評価・情報公表制度の調査対応
- ② 平成29年10月30日 神奈川県介護サービス情報の公表対応
- ③ 平成29年11月15日 横浜市介護事業指導課による実地指導対応
- ④ 運営推進会議を年6回(2ヶ月に1回)を目標に実施、
- ⑤ 介護相談員年6回(2ヶ月に1回)対応

(13) 検討課題

- ① 職員の質の向上のため、研修の充実、外部研修への参加を進める。
- ② ターミナル介護を行うにあたっての課題の整理を進める。
- ③ 開所15年目となる、老朽化による修繕費用の検討が必要と考える。 給湯器、サッシのガラス等。

小規模多機能型居宅介護 かりん

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護  
 事業所名称:小規模多機能型居宅介護 かりん  
 事業所番号:1493500126 開設年月日:平成21年12月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成27年12月1日~平成33年11月30日

(2) 所在地 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 3-62-2 TEL/FAX :045-895-6006

(3) 職員 20名 (平成30年3月末)  
 (男性4名、女性16名) (常勤6名、(うち1名、短時間正社員32時間)(うち1名他事業所と兼任)非常勤14名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	0.4名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤兼務 1名、非常勤 1名	(1名兼務)(うち兼務1名) 2名	0.3名
看護職員	非常勤 1名	1名	0.4名
介護職員	常勤兼務1名、常勤4名、非常勤14名 (常勤のうち短時間正規職員、1名)	(うち兼務3名) 19名	10.4名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤 1名	(1名兼務) 1名	0.6名
(実人数合計)合計		(20名)24名	12.1名

※( )内は兼務数を引いた実人数 ※(うち兼務〇名)数を引くと実人数  
 ※常勤換算:週40時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/40時間=常勤換算  
 ※介護支援専門員:2名、介護福祉士:6名、看護師:1名、ヘルパー2級:14名、理学療法士:1名、無資格:3名  
 ※平成29年11月末で常勤介護職員1名退社

(4) 利用者定員 24名  
 登録利用者 14名 (男性3名、女性11名) (平成30年3月末) 平均年齢:86.9歳(67歳~95歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	0名	3名	2名	4名	2名	2名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員15名 ショート定員9名

(5) 運営方針:利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。  
 ・外部の人間の出入りを積極的に行う。地域ボランティアの受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。  
 ・職員の多くが地域住民で構成され、地域密着型サービスとしての特性を活かし家庭的な温かい雰囲気運営していく。  
 ・認知症介護の相談窓口として地域に貢献していく。  
 ・主治医、看護師、家族と常に連携相談を行い、在宅で生活できる限り支援していく。

(6) 営業時間(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおりとする。  
 ① 通いサービス 原則9:00~17:00  
 ② 訪問サービス 原則9:00~17:00※緊急時24時間対応可能  
 ③ 宿泊サービス 17:00~翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部  
 ※原則として生活圏域(中学校区 施設から2~3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳) ※厚生労働大臣が定める基準によるものとする

- ① 介護保険の一割または二割負担分 月額 ※厚生大臣が定める基準による  
 要支援1:3,703 円/ 7,405 円 要支援2:7,483 円/14,965 円・要介護1:11,229 円/22,457 円 要介護2:16,502 円/33,004 円  
 要介護3 :24,004 円/48,007 円 要介護4:26,493 円/52,986 円 要介護5 :29,212 円/58,424 円
- ② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による  
 総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088 円/二割負担 2,176 円  
 サービス提供体制強化加算Ⅲ:381 円/762 円  
 処遇改善加算Ⅰ: 393 円～2,397 円/786 円～4,794 円(当月適用単位をもとに計算)  
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:871 円/1,741 円 加算Ⅱ:544 円/1,088 円  
 初期加算(初回利用日から30日間):一日あたり33 円/66 円
- ③ 保険外の費用  
 食費:朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 ・宿泊費:一泊 3,000 円  
 レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)  
 ※ その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。

(10) 研修報告および年間イベント報告

研修報告 内部研修

実施月	研修内容		
4月	トイレ介助と排泄、介護上の注意点	10月	感染症
5月	口腔ケア、健康管理	11月	個人情報保護・プライバシー保護、高齢者の栄養
6月	リハビリ体操、転倒予防、多発性脳梗塞	12月	リスク管理、網膜色素変性症
7月	緊急時の対応、類天疱瘡	1月	身体拘束
8月	認知症について	2月	避難訓練・防災訓練
9月	サービスの質の向上・自己評価	3月	次年度の検討課題・研修計画作成

研修報告 外部研修

実施月	研修内容		
6月	6/23 日野南地域ケアプラザ勉強会	10月	10/19 小菅ヶ谷ケアプラザ健康セミナー
7月	7/13 豊田地域ケアプラザ事例検討会	11月	11/17 外部評価 11/27 横浜市介護の日フォーラム
8月	介護支援専門員専門Ⅰ更新研修(56時間) 8/8 すずらん新人研修受け入れ 8/29,30 防火・防災管理新規講習	1月	介護支援専門員専門Ⅱ更新研修(32時間)
9月	9/5 食品衛生責任者講習会 9/27 すずらん新人研修受け入れ	2月	2/13 横浜市地域密着型サービス集団指導説明会

イベント報告 (避難訓練等含む)

実施月	イベント内容		
4月	4/6, 7お花見(小菅ヶ谷第3公園) 4/17 ウクレレ・フラダンスのボランティア	10月	10/26.27 小山台中学校文化祭出品・見学 10/24 ハロウィーン(学童風の子クラブ来訪)
5月	5/4～6 端午の節句(しょうぶ湯) 5/17 フラワーアレンジメント 5/18、19大船フラワーセンター	11月	11/7,8 栄区シニア展出品・見学 11/16 芋ほり 11/26 学童かぜの子まつり 11/27 介護の日フォーラム
6月	消防署の査察	12月	12/11 避難訓練 12/20 クリスマス会 12/25 音楽療法&学童コラボクリスマス会
7月	7/6 夜間想定避難訓練 7/29 町内会夏祭り	1月	書初め 1/13 町内会サイト焼き
8月	8/23 かりん夏祭り(ママ歌い隊より ピアノ、オーボエ2重奏)	2月	節分 2/20 地震、火災避難訓練 2/17～スプリンクラー設置工事
9月	9/22 敬寿会&家族会 9/24 町内会秋祭りおみこし見学	3月	ひな祭り 3/28 消防署スプリンクラー設置 3/11 小菅ヶ谷第1町内会震災時安否確認訓練

※誕生会は、各利用者の誕生日に近い利用日にお祝いする。おやつに誕生日ケーキをお出しする。

※かりんカフェ開催、毎月第1金曜日13:30～15:00 小菅ヶ谷町内会回覧板、掲示板にて告知する。

(12) 外部監査等対応

- ① 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回実施活動報告及び活動の改善について会議をおこなう。
- ② 外部評価:事業所で行った「自己評価」を、運営推進会議内にてメンバーから評価を受け、後日総括表を作成する。

小規模多機能型居宅介護 くるみ

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護  
 事業所名称:小規模多機能型居宅介護 くるみ  
 事業所番号:1493500134 開設年月日:平成22年4月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成28年4月1日~平成34年3月31日

(2) 所在地 〒247-0008 横浜市栄区本郷台4-28-12 TEL/FAX 045-893-7517

(3) 職員 18名 (男性2名、女性16名) (常勤1名、非常勤17名) (平成30年3月末)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	0.4名
計画作成担当者 (事務職員、介護職員兼務)	常勤兼務 1名・非常勤兼務 2名	(2名兼務)(うち兼務1名) 3名	0.7名
看護職員	非常勤 2名	2名	0.5名
介護職員	非常勤13名 常勤兼務1名、非常勤兼務2名	(うち兼務3名) 15名	6.8名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤兼務 1名	(うち兼務1名) 1名	0.2名
(実人数合計)合計		(18名) 22名	8.6名

※( )内は兼務数を引いた実人数 ※うち兼務数を引くと実人数  
 ※常勤換算:常勤勤務時間週40時間=1名で設定  
 ※計画作成担当者(介護支援専門員)は3名設置 うち1名は管理者兼務  
 ※資格保持状況:介護支援専門員3名、介護福祉士8名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級4名、正看護師1名、准看護師1名、無資格3名

(4) 利用者数

登録利用者 15名 (男性1名・女性14名) (平成30年3月末) 平均年齢:83.5歳(65歳~94歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	1名	4名	2名	6名	1名	0名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員12名 ショート定員4名

(5) 運営方針

利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行った。訪問医療を利用する利用者も増えており、診療時に同席して情報交換したり、随時FAX等で報告するなど、顔の見える関係作りを行った。

※行政、地域包括支援センター等と常に連携し、在宅の継続が困難となった場合や緊急対応が必要な際には、本人が必要な支援を受けられるよう速やかな対応を行った。

※民生委員や近隣住民と情報交換し、独居利用者の見守りや徘徊時の協力体制を確認した。見守りネットワークへの登録や、徘徊時に事業所へ連絡をしてもらう等の協力が得られた。

※地域ボランティアの受入れを積極的に行い、地域に開かれた環境を作った。スタッフは質の向上を意識して業務にあたった。

※運営推進会議での関わりをもとに、自治会や地域機関との連携をはかった。今後、自治会の防災担当者と連携し、夜間想定避難訓練の防災活動について協力を得られるよう進めていきたい。

(6) 営業時間(年中無休) 職員の休日 ※就業規則のとおりとする。

- ① 通いサービス 原則9:00~17:00
- ② 訪問サービス 原則9:00~17:00※緊急時24時間対応可能
- ③ 宿泊サービス 17:00~翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※原則として生活圏域(中学校区 施設から2~3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳)

① 介護保険の一割または二割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による

要支援 1:一割負担 3,703 円/二割負担 7,405 円 要支援 2:7,483 円/14,965 円 介護 1:11,229 円/22,457 円

要介護 2:16,502 円/33,004 円 要介護 3:24,004 円/48,007 円 要介護 4:26,493 円/52,986 円 要介護 5:29,212 円/58,424 円

② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による

総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088 円/二割負担 2,176 円

サービス提供体制強化加算 I :544 円/1,088 円

処遇改善加算 I : 393 円~2,397 円/786 円~4,794 円(当月適用単位をもとに計算)

認知症加算(該当者のみ) 加算 I :871 円/1,741 円 加算 II :544 円/1,088 円

初期加算(初回利用日から30日間):一日あたり33 円/66 円

③ 保険外の費用

食費:朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 ・宿泊費:一泊 3,000 円

レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)

※その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 事業活動収支額 事業所の「資金収支計算書」のとおり。

(10) 研修報告および年間イベント報告

研修報告 内部研修

実施月	研修内容		
4 月	車椅子での段差・階段の移動介助	10 月	情報公表制度 自己評価の実施
5 月	認知症 レビー小体型認知症	11 月	防災訓練の振り返り
6 月	血糖値測定とインスリン自己注射	12 月	新規利用者の個別対応確認
7 月	むくみと運動(ボール体操、くるみ体操)	1 月	送迎 積雪時の対応
8 月	火災想定避難訓練	2 月	マナー・接遇、感染症予防
9 月	救命処置・栄区の救急の実態	3 月	レビー小体型認知症と特徴、次年度年間計画

研修報告 外部研修

実施月	研修内容		
4 月	4/21 介舟 cloud 説明会 出席	10 月	10/6 栄消防署立入調査 10/13 本郷台自治会ふれあいサロン出席
5 月	5/24 平成横浜病院 在宅連携会議 参加	11 月	11/22 栄消防署 避難・通報・AED 訓練の指導 11-12 月 ケアマネ更新研修 II (後藤)
6 月	6/3 本郷台自治会見守りネットワークで事例発表 6/23 日野南 研修「認知症の方への対応」 6/30 豊田 研修「徘徊高齢者の安全を支えるシステムと緊急通報」	12 月	11-12 月 ケアマネ更新研修 II (後藤)
7 月	7/14 本郷台自治会ふれあいサロン出席	1 月	1/29 栄消防署 消防点検
8 月	8-10 月 ケアマネ更新研修 I (吉田)	2 月	2/14 横浜市地域密着型サービス指導講習会
9 月	9/8 本郷台自治会ふれあいサロン出席 9/21 栄ケアネット研修「救命救急 24 時」参加	3 月	

イベント報告 (避難訓練等含む)

実施月	イベント内容		
4 月	お花見 ドライブ、散歩	10 月	10/7 自治会秋祭りへ参加
5 月	ドライブ、散歩 避難訓練	11 月	11/7-9 作品展 11/27 介護の日ブース出展 11/21 運営推進会議 11/22 栄消防署 避難・通報・AED 訓練の指導
6 月	6/7 運営推進会議	12 月	12/14,15 フラワーアレンジメント 12/18-22 クリスマス演奏会、ビンゴゲーム他
7 月	7/19 運営推進会議	1 月	1/17 運営推進会議
8 月	8/7-17 夏祭り週間 焼きそばホットケーキ	2 月	2/1-3 節分 豆まき、ゲーム
9 月	9/18 敬老の日 ちらし寿司、おはぎ 9/20 運営推進会議	3 月	3/20 運営推進会議(外部評価の実施)

※誕生会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝する。顔写真を貼りスタッフが寄せ書きした色紙プレゼント  
当日出席の利用者とスタッフ全員でお祝い 誕生日ケーキをおやつにする

★以下の企画は、天候やご利用者の心身の状態が良好の場合に実施した

- ・自治会のイベント 秋祭り、防災訓練等への参加(随時) ・自治会主催「ふれあいサロン」への参加(対象:自治会居住者 随時)
- ・近隣公園(舞岡公園、小菅ヶ谷北公園)へのドライブ、お茶飲み、自然散策 ・公共の展示場「リリス」や「あーすぶらざ」での鑑賞イベントや展示会の見学(随時)

(11) 外部監査等対応

- ① 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回 実施活動報告及び活動の改善について会議をおこなった。  
メンバー:包括支援センター職員、区職員、自治会役員、民生・児童委員、福祉に知見のある地域ボランティア、家族、利用者
- ② 外部評価 職員「自己評価」、事業所「自己評価」をもとに、運営推進会議のメンバーから評価を受けた。

(12) 検討課題

- ① 新規契約者の獲得にむけて  
地域包括支援センターや、居宅介護支援事業者などへの営業活動  
地域住民や民生委員へ、小規模多機能型居宅介護事業所の説明や見学の受入れ
- ② 職員の研修の充実  
法人内他事業所との交換研修、外部研修への参加を進めたい

### 栄区地域子育て支援拠点にこりんく

(1) 事業内容

事業名称 栄区地域子育て支援拠点にこりんく  
 対象 0歳～未就学児とそのご家族の方 妊娠中の方  
 子育て支援や活動に興味のある方

(2) 所在地 横浜市栄区桂町711番地「さかえ次世代交流ステーション」1階

TEL・Fax 045-898-1615

(3) 職員 15名

職名	保育士	その他
常勤	5	0
非常勤	8	2

(4) 年間利用者数

活動日数	242日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	21,591人
平均利用者数	89.2人/日

実績表※月別の詳細は以下表を参照(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均 利用者数	率 (%)
開所日数	20日	19日	22日	21日	19日	21日	21日	20日	18日	19日	20日	22日	242日		
0歳児	267	340	442	412	219	384	363	357	261	210	223	290	3768	15.6	33.9
1歳児	252	275	325	334	215	385	347	424	300	338	335	376	3906	16.1	35.1
2歳児	129	139	174	195	151	211	168	218	117	178	100	157	1937	8	17.4
3歳児	37	46	54	95	70	81	49	73	75	80	93	108	861	3.6	7.7
4歳児	22	21	19	33	43	26	24	22	26	26	27	51	340	1.4	3.1
5歳児	28	23	11	40	32	18	12	11	11	13	8	23	230	1	2.1
6歳児	4	0	1	9	9	6	2	5	7	6	4	35	88	0.4	0.8
就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども 小計	739	844	1026	1118	739	1111	965	1110	797	851	790	1040	11130	46	100
父	46	56	66	60	36	68	65	45	37	64	87	73	703	2.9	6.7
母	639	730	901	937	604	980	854	991	678	720	669	876	9579	39.6	91.6
祖父	4	0	1	2	1	3	1	0	1	3	1	3	20	0.1	0.2
祖母	9	7	8	11	5	9	15	10	6	9	6	7	102	0.4	1
本人以外の子供	1	0	3	2	0	0	0	0	0	13	0	2	21	0.1	0.2
プレパパ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
プレママ	0	0	0	1	1	3	1	0	0	1	0	0	7	0	0.1
その他	1	1	3	3	0	0	0	0	0	13	3	4	28	0.1	0.3
親等 小計	700	794	982	1016	647	1063	937	1046	722	822	767	965	10461	43.2	100
合計	1439	1638	2008	2134	1386	2174	1902	2156	1519	1673	1557	2005	21591	89.2	100

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

事業目的1 安心して子どもを生き育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成する。

事業目的2 子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与する。

<p>おやこの居場所</p>	<p>▼利用する人を温かく迎え入れ、安心してくつろいで過ごせる場を提供する。</p> <p>▼多様な世代、性別などの養育者と子どもが訪れる場となるよう、様々な取り組みを行う。</p> <p>▼養育者と子どものニーズを把握する。</p> <p>▼親(養育者)自身が親として育ち、また子どもが育つ場となるよう支援する。</p> <p><b>○子どもの成長に合わせた発達プログラムの実施</b></p> <p>①ベビーマッサージ 21回 237組 474名 ②音楽遊び 11回 127組 255名 ③リトミック 22回 293組 602名</p> <p>④五感で遊ぼう 2回(夏休み・冬休み) 7/27 3/29 合計 20組 41名</p> <p><b>○異年齢交流プログラムの実施</b></p> <p>①おやこあそび 9回 170組 364名②お誕生会 12回 274組 555名</p> <p>③みんなで遊ぼう(子育て支援者)6回 140組 297名</p> <p><b>○リフレッシュプログラムの実施</b></p> <p>①親子ヨガ 12回 148組 299名②おやこ陶芸 15回 116組 236名③みんなでストレッチ 11回 118組 68名個別 相談 37名④抱っこママコーラス 10回 65組 130名</p> <p><b>○利用者間の交流を促すための企画を継続的に実施</b></p> <p><b>A-年齢別交流プログラム</b></p> <p>①0ちゃんベビー集まれ 11回 374組 709名②1オチビちゃん集合 11回 216組 435名</p> <p>③集まれにこりんキッズ 11回 86組 187名</p> <p><b>B-交流プログラム</b></p> <p>①妊娠期の支援「マタニティさんあつまれ！～お花で遊ぼう～」年間 3回 4名②ふたごみつごの会 9回 75組 152名③10代・20代のママの会 11回 75組 152名④ひまわりの会 5回 19組 38名⑤幼稚園に在籍している先輩の母親と未就園の母親の交流会「幼稚園ママと話そう」 年間 2回 55名(幼稚園ママボランティア 26名)</p> <p><b>C-季節のプログラム</b></p> <p>①にこりんく七夕会 7/7 52組 106名②7・8月水あそび 4回 69組 145名③にこりんく虹のふれあい コンサート※栄公会堂 12/2 495名④みんなで豆まき 2/3 41組 88名 パパボランティア 7名⑤にこりんく ひなまつり 3/2 58組 126名⑥新1年生を祝う会 3/20～31 9回 20名</p> <p><b>○利用者のニーズに合わせた講習会</b></p> <p><b>A-区との連携</b></p> <p>①0ちゃんベビー集まれ、「離乳食講座」7/5 52組 105名 講師：栄養士(区)「歯科相談」2/6 23組 47名 講師：歯科衛生士(区) ②1オチビちゃん集合 7/13「歯のお話」20組 40名 講師：歯科衛生士(区) 「栄養と離乳食の話」2/8 28組 57名 講師栄養士(区) ③集まれ!にこりんキッズ「イヤイヤ期の話」 9/21 13組 26名 講師：保育士(保育園)</p> <p><b>○災害時の避難場所の対応等、発災時に向けた体制の整備を行う</b></p> <p>①災害時の対応については、拠点防災マニュアルを4月に区こども家庭支援課との定例会にて確認した。 (地震・火災・不審者・ミサイル) 震災発生時の帰宅困難者一時受け入れは栄公会堂であることを確認。 平成30年度には水害マニュアルをステーション運営2法人で作成予定。(いたち川増水時の対応について)</p> <p>A-ステーション全体防災訓練 地震からの火災訓練(・7/25 14組 39名 拠点職員7名 ・3/13 15組 32名 拠点職員6名 ※栄消防署立会い3名)それぞれの事業所同士が連携し発災時の対応を具体的にシミュ</p>
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<p>おやこの 居場所</p>	<p>レーションすることができた。</p> <p>B-ステーション全体不審者対応訓練 12/25 虹職員 17名 径職員 9名) 民間の業者と一緒に訓練を実施。 改善点を即日検討し、毎月繰り返し利用者参加型の訓練を行なった。利用者参加型での訓練は我が子を守る意識を高めるきっかけとなった。</p> <p>a-にこりんく内地震避難訓練 4/21 19組 38名 5/19 22組 45名 6/21 4組 9名 7/25 14組 39名 8/18 6組 12名 9/1 10組 20名 10/12 14組 29名 11/18 11組 26名</p> <p>b-にこりんく内不審者対応訓練 1/26 7組 14名 2/21 13組 34名</p> <p>②毎日、お昼と帰りの集いで地震から我が子を守るためのポーズ「ダンゴムシポーズ」を実施。 避難訓練の実施時にも実際に取り入れ、いざという時、我が子の身を守ることの大切さを伝えた。</p> <p>○ファミリープログラム</p> <p>①「パパママ一緒にふれあい遊び」4回 53組 127名 ②「パパママ一緒に運動あそび」3回 28組 71名</p> <p>②パパたち集まれ 第1回 「スタンプラリー」 5/20 8組 23名 父8名 第2回 「パパ講座」 7/15 12組 35名 父12名 12組 35名 第3回 「ダンボール迷路作り」 8/29 12組 60名 第4回 「記念手形」 3/17 12組 25名 父親参加型プログラムを充実させたことがきっかけになり、土曜日の父親利用が増えた。 (父親来館数 平成28年度 452名 平成29年度 703名)</p> <p>③抱っこパパ隊 年間12回 54組 &lt;ステージ発表&gt;ステーション祭り舞台 9/2 5組 にこりんく虹のふれ あいコンサート 12/3 7組 パパママ一緒にふれあい遊び 12/16 5組 豆まき 2/3 9組 様々なシーンで父 親の歌を発表する機会を設けたことで、父親の来館増加にも繋がり、父親同士が交流するきっかけとなった。</p> <p>○多様な養育者が拠点に興味を持ち、出向くきっかけとなるよう地域のボランティアや学生等を受け入れる 工夫を行った。</p> <p>①地域ボランティア活動 a にんじんクラブ 11回 ボランティア 23名(読み聞かせ) b おもちゃ病院 22回 91件 ※ステーション祭り「手作りおもちゃブース」地域ボランティアと親子が絵本の読み聞かせや、おもち ゃの修理・ステーション祭りでの「手作りおもちゃブース」を通して交流することができた。 c 子ども支援 農園「玉ねぎ堀り」6/3 24組 63名 交通安全&amp;すいか割り 7/29 支援者ボランティア 5名 13組 37名 子ども 支援農園スタッフによる食育の話や、収穫体験、すいか割りなどを通して地域の方々と交流することができた。 身近な地域の活動を知る良い機会となった。 d さかえダンディーズ「孫育て講座」歌の発表 9/22 7名 懐か しの唱歌を一緒に歌ったり、自己紹介ゲームなどをして交流を深めることができた。 地域のボランティア講師の支えによって養育者のリフレッシュや、子どもの発達に合わせたプログラムなどを 実施することができた。(・ベビーマッサージ 21回 237組・親子ヨガ 12回 148組・みんなでストレッチ 11回 118名・おやこ陶芸 15回 116組・五感で遊ぼう年間2回 20組・みんなであそぼう&lt;子育て支援者&gt;6回 140 組)</p> <p>②利用者ボランティア活動・絵本の読み聞かせ(パパ) 11回 (ママ) 5回・パパによるリトミック 7回・音楽ボ ランティア(練習) 20名 ・お誕生日会(歌のプレゼント) 5回 22名・抱っこパパコーラス(ピアノボランティ ア 5名)・抱っこママコーラス(ピアノボランティア) 12名・製作ボランティア 3名・パパたちによるお楽し み会 5/6 8名 7/26 5名・ミニミニコンサート 5/30 3名 11/7 4名 ヨガ 6/1 1名・七夕会(歌・楽器) 2名・ブンバボン体操 12/19 2名 3/8 2名 ・ままうたい隊発表&lt;9/29 17名 ひなまつり 3/2 16</p>
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>おやこの居場所</p>	<p>名笠間地域ケアプラザ子育て講座での発表 10/5 11名 野七里地域ケアプラザ子育て講座での発表 11/17 13名          名 こんにちは赤ちゃん訪問員定例での発表 12/21 17名 &gt;利用者自身もボランティアとして子どもを連れながら活動することができた。</p> <p>③<u>学生ボランティア受け入れ 区社協サマーボランティア受け入れなど</u> 7/25・26 中学生1名 豊田地区          夏ボランティア体験受け入れ 7/26 中学生1名 青少年地域活動拠点フレンズ☆SAKAEからおもちゃの提供・ダンボール迷路作り 8/30 2名 7/28 中学生2名・小学生1名 神奈川県立横浜栄高等学校          夏期体験学習事前打ち合わせ 6/1 3名 夏季体験学習参加オリエンテーション 7/10 26名 教諭1名(体験学習 7/28～8/18迄 26名 教諭1名) 神奈川県立横浜金井高校「子育て支援の現状把握と課題について」ヒヤリング1名 インターンシップ事業研修 8/24 横浜創英大学看護学部看護学科2名 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科1名 神奈川県立横浜柏陽高校5年経験者「社会経験研修」8/18・19 教諭1名 上智社会福祉士専門学生見学実習 9/15 1名 鎌倉女子大学「手遊び」6/6 3名 7/4 2名 「絵本カフェ」9/20 4名 藤沢未来創造財団見学 10/18 6名 横浜市病院協会専門学校 1/12 1名 本郷中学校職場体験 1/19 4名 本郷台小学校 6年生「合唱」34組 70名 11/15 3年生「牛乳パックで遊ぼう」 1/30 18組 37名          普段関わることのない、地域の小・中学生、高校生、大学生などと交流する良い機会となった。わが子の成長を重ね合わせている親もいた。小学生は、乳幼児と関わることで、相手が喜び楽しめる工夫を考えるよい経験になった。④多様な養育者と子どもが来館できるよう、港南療育センター小平氏に環境設定や、配慮が必要な個別対応について具体的に指導を受けた。クールダウンの場所や遊具の工夫等、再確認する良い機会となった。また拠点プログラム(ぶちおやこ遊び)や個別対応ケースについても効果的なチーム支援について学ぶことができた。2/16※外国の方の利用が少ないため、現状を把握し区や区内の活動団体と次年度は連携をして来館のきっかけづくりや、取り組みを検討していく。</p>
<p>子育て相談</p>	<p>▼養育者とスタッフの間に安心して相談できる信頼関係ができ、気軽に相談ができる場を提供する。          ▼発達、不適切な養育など、専門的対応を要する相談を受け止め、関係機関に結びつけ、また必要に応じて継続したフォローを行った。          ▼プライバシーに配慮し、相談しやすい環境を整えた。          ※スタッフによる子育て相談(フロアにて) 927件</p> <p>A ①遊びを通して子どもの成長や変化と一緒に見守る事で利用者が具体的な相談を話せるように努め対応を行った。その後の経過については、利用時に声掛けをし 継続的に支援(見守り)することで、養育者にとって相談しやすい環境となり発育・発達などの相談にも繋がった。          ②帰宅時には一人ずつ丁寧にスタッフが付き添い見送る時間を大切に。その結果、帰宅時に深い相談が養育者から上がることも多く再来館に繋がり、継続的な見守りや支援を行うことができた。</p> <p>B 相談内容に応じては、相談者に個室利用の意向を聞き安心して相談できるよう環境を準備した。個室の環境は利用者も話しやすく、思いをゆっくりと傾聴することができた。</p> <p>C 養育者のニーズに沿った内容の専門職による相談          ①助産師育児相談(個別相談) 年間 22回 78件 母親自身の身体のこと、授乳について等個別の相談に専門職が丁寧に対応することで母親の不安が解消された。          ②助産師グループ相談年間 16回 94名 内容:卒乳について・乳幼児の冬の過ごし方・スキンケアについて・産後のママの身体の変化についてなど、助産師のお話の後、質疑応答タイムをとることで、悩みや問を解消することができた。他者の悩みも聞くことで、不安を軽減することができた。</p>

子育て 相談	<p>③保育・教育コンシェルジュ年間12回47件 養育者が、それぞれの事情に合わせて区内の預け先や、就労に向けての準備や手続きなど、具体的にイメージすることができた。</p> <p>④理学療法士年間11回114名個別37件 養育者自身の健康にも目を向ける機会を大切にしました。 自宅でも繰り返しできる腰痛や肩こりの予防ストレッチをフロアで気軽に学ぶことができた。痛みなど、症状がある方については個別に相談を受け、具体的な対処法を伝えることができた。</p> <p>⑤栄養士：0ちゃんベビー集まれ「栄養と離乳食の話」7/5 52組 1オチビちゃん集合「栄養の話」2/8 28組年齢に応じた栄養の取り方(食事の与え方等)を知ることで、日々の離乳食や、食事についての疑問や悩みが解消できた。</p> <p>⑥集まれ！にこりんキッズ 保育士「イヤイヤ期のお話」9/21 13組26名イヤイヤ期に悩む養育者がこの時期の子どもの心身の発育を知り、仲間と共感することで不安の解消につながった。今の様子を受け止め親自身も元気をもらい子どもと向かい合う大切さを改めて感じる事ができたという声があがる。</p> <p>⑦歯科医師・歯科衛生士：1オチビちゃん集合「歯のお話」7/13 20組 0ちゃんベビー集まれ「歯のお話」2/6 23組仕上げ磨きや、嫌がる子への歯磨きの仕方等、歯について不安に思っていたことを、個別に質問することができ不安を解消することができた。</p> <p>⑧食生活改善推進委員ヘルスメイト「バランスよく食べる」12/14 17組 バランスよく食べる食事の指導や一日に必要な野菜の摂取量を実際に計ることで体験を通して具体的に学ぶことができた。</p> <p>⑨栄警察署による「防犯のお話」5/23 18組 チャイルドシートの大切さや、道で不審者に遭遇した時の対応の仕方等を知る良い機会となった。</p> <p>⑩栄消防署による「事故予防のお話」2/9 16組 救急車を呼ぶタイミングや人工呼吸の方法について学び事故予防についての意識を高める良い機会になった。</p> <p>⑫「いざという時の防災講座」3/31 13組(父7名) 提供会員4名 災害時の対応策について家具の転倒防止器具やペットのマットを使った簡易トイレの作り方など、具体的な方法を学ぶことができた。</p> <p>⑬ひまわりの会9/9 3組9名 講師：ひとり親サポート横浜 子育てと仕事の両立等、先輩当事者の話を聞く良い機会となった。</p> <p>⑭「乳幼児救急救命法」10/7 12組31名 子サボ会委員2組 「乳幼児応急処置法」2/24 19組43名 子サボ会員3組 両親で参加する親子が多く、事故や救急時の対応を実際に体験することができた。</p> <p>▼地域の子育て情報を収集し、発信・提供した。</p> <p>▼利用者自身がサークル等の子育て情報を発信できる場を提供した。</p> <p>▼情報収集、提供の仕組みづくりに利用者が積極的に参加できるよう工夫を行った。</p> <p>Aー毎月にこりんく通信を発行(1,500部/月)し、区内の各施設や関係団体に配布し(横浜栄共済病院も含む)、サロンや地区センター図書館など、訪問時には持ち込み、直接情報を伝えた。拠点以外で通信を見た新規の来館に繋がった。</p> <p>Bーホームページを見て「プログラムに参加してみたい。来館に興味を持った。」という声も多く聞かれるようになり、随時更新する事で、来館しづらい方でも情報を入手できるよう工夫を行った。(父親ページのプログラム紹介・助産師相談など)</p> <p>Cー子育て支援団体連絡会に事務局として参画し、栄区の子育て支援に関わる情報や各団体の取り組みなどについて</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>情報収集 提供</p>	<p>て収集し拠点情報ファイル、掲示板にて発信した。</p> <p>Dー子育てサポートシステム出張説明会にて拠点周知を行った。拠点から離れた身近な地域で開催することで、気軽に参加でき、登録や依頼に繋がった。</p> <p>(おやこの駅ひろば 6/2 2名、豊田地区センター7/11 4名、おやこの駅ひろば 6/2 1名、小菅ヶ谷地域ケアプラザ 10/3 3名、千秀センター2/21 4名) 館外に掲示板を設置し、通信やプログラムカレンダー、子育てパートナー、子育てサポートシステムの情報を掲示した所、新規来館に繋ぐことができた。</p> <p>Eーホームページで子育てサークル情報を地区別にまとめ掲載した。新規登録についても随時更新することで、区内の子育てサークルを養育者が把握することができるよう努めた。</p> <p>Fー同年齢の交流プログラム(1オチビちゃん集合など)で、母親自身がサークル活動の情報提供を行い、参加を呼びかけ、情報提供の仕組みがあることを周知した。</p> <p>Gー地域で活動を行っている利用者や担い手(関係機関・団体・サロン・など)のポスターを掲示できる場を提供した。また、お昼と帰り集いのインフォメーション時に利用者に直接情報提供を行った。</p> <p>内容: 音楽活動・パパ音楽ボランティアなど「にこりんくお楽しみ会」5/6, 8/24 「みんなでヨガ」6/1 ママ音楽ボランティア「ミニコンサート」5/30, 2/13 1オチビちゃん集合「ブンバボーンを踊ろう」12/8</p> <p>Hー区内サークルメンバー募集活動紹介ポスターなど、養育者からも多くの情報が提供された。</p> <p>養育者が主体となり企画したプログラムの情報提供を行った。</p> <p>Iー同年齢の交流プログラム(1オチビちゃん集合など)で、母親自身がサークル活動の情報提供を行い、参加を呼びかけ、情報提供の仕組みがあることを周知した。</p> <p>Jー地域で活動を行っている利用者や担い手(関係機関・団体・サロン・など)のポスターを掲示できる場を提供した。また、お昼と帰りの集いのインフォメーション時に利用者に直接情報提供を行った。</p> <p>内容: 音楽活動・パパ音楽ボランティア等「にこりんくお楽しみ会」5/6, 8/24 「みんなでヨガ」6/1 ママ音楽ボランティア「ミニコンサート」5/30, 2/13 1さいちビちゃん集合「ブンバボーンを踊ろう」12/8</p> <p>Kー区内サークルメンバー募集活動紹介ポスターなど、養育者からも多くの情報が提供された。</p> <p>養育者が主体となり企画したプログラムの情報提供を行った。「みんなでヨガ」6/1、1オチビちゃん集合の中で、体操インストラクターの資格を持つ母親が企画した「ブンバボーンを踊ろう」12/8、利用者企画「アラフォーママの会」11/24, 1/11 開催にあたり、昼と帰りの集いの時に利用者に参加を呼び掛け周知を行った。情報提供をすることで、養育者同士も繋がるきっかけとなった。</p> <p>※今後、利用者だけでなく拠点来館者以外にも活動が知られるような検討や工夫が必要。</p>
	<p>▼地域の子育て支援活動を活性化するため、新たな子育て支援人材の育成に努めた。</p> <p>▼地域で子育て支援に関わっている方へ、スキル向上に向けた研修会や勉強会を実施した。</p> <p>Aー区と協働で地域に向けて、子育て支援の必要性を周知・啓発していく機会を設けた。</p> <p>a さかえっ子の笑顔ひろげ隊では、子育て世帯を温かく見守る地域づくりを目指し活動を行った。</p> <p>&lt;主催: こども家庭支援課 事務局: こども家庭支援課・区社協・主任児童委員・拠点&gt;</p> <p>子育て関係者や親子・地域の方が集まる場所で「見守りの大切さ」「養育者と地域の繋がりの大切さ」「相談先の周知」について啓発することができた。また、赤ちゃんのふれあい体験や、命の授業では事業を通じて次世代(小・中学生)が命の大切さにふれ乳幼児の親子と接する体験ができた。b 孫育て講座 9/22・29 43名</p> <p>チラシ 43部 c 赤ちゃんのふれあい体験 会場: 中野地域ケアプラザ 8/4 中学生 3名 チラシ 20部</p>

<p>人材育成</p>	<p>小菅ヶ谷地域ケアプラザ8/18 中学生2名 チラシ11部 笠間地域ケアプラザ8/2 31名 チラシ17部  d第2回子育て支援団体連絡会 チラシ50部 eにこりんく虹のふれあいコンサートチラシ300部 f命の  授業 西本郷中学校3年生4クラス協力 g第1回栄区セーフコミュニティ-推進協議会子ども安全対策分科  会に参加7/25 拠点内での防災の取組を紹介・利用者への周知状況を発表(事故予防)啓発グッズ100部配  架 hセーフコミュニティ事前指導プレゼン参加(9/10)1名 栄区の取組についての発表を聞き、取組み内  容について、なぜそこに視点を置いたのか、表現方法も含め他者に伝える方法を学ぶ良い機会となった。i  区内6か所の地域ケアプラザと連携し、地域の親子が参加したい講座を地域ケアプラザで開催。地域の多く  の親子が参加し、拠点を周知する良い機会となった。</p> <p>1-豊田地域ケアプラザ2回開催「食べるの大好き!食育講座」  ①ぼっかばか1/9 12組25名②の〜びのび2/15 9組18名</p> <p>2-笠間地域ケアプラザ「いざという時の防災講座」11/18 15組32名</p> <p>3-桂台地域ケアプラザ「歯磨きのコツ」2/11 9組18名</p> <p>4-中野地域ケアプラザ「親子で一緒に予防救急&amp;ふれあい遊び」2/11 9組18名</p> <p>5-小菅ヶ谷地域ケアプラザ ①「押田先生と遊ぼう」12/5 15組30名②「パパと一緒に遊ぼう」1/20  12組36名</p> <p>6-野七里地域ケアプラザ「げんきっこひろばdeふれあひあそび」11/17 22組49名</p> <p>B-豊田子どもネットワーク委員会に参加し、学齢期の子どもの居場所づくりをともに検討した(年間11回)  虐待防止連絡会6/22「子ども家庭支援課における養育支援・児童虐待の対応の現状について」個別の事例を  通して意見交換し、機関連携を考えるよい機会となった。1名</p> <p>C-学生ボランティア受け入れ 区社協サマーボランティア受け入れ 7/25・26 中学生1名 豊田地区夏ボラ  ンティア体験受け入れ 7/26 中学生1名 青少年地域活動拠点フレンズ☆SAKAEからおもちゃの提供  7/28 中学生2名・小学生1名 段ボール迷路づくり 8/30 小学生2名(交流親子24組) 神奈川県立横浜栄  高等学校 夏期体験学習事前打ち合わせ6/1 3名 夏季体験学習参加オリエンテーション7/10 26名 教  諭1名(体験学習7/28~8/18迄 26名教諭1名)</p> <p>神奈川県立横浜金井高校「子育て支援の現状把握と課題について」ヒヤリング1名 インターンシップ事業  研修8/24 横浜創英大学看護学部看護学科2名 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科1名神奈川  県立横浜柏陽高校5年経験者「社会経験研修」8/18・19 教諭1名 上智社会福祉士専門学生見学実習 9/15  1名 鎌倉女子大学「手遊び」6/6 3名 7/4 2名 「絵本カフェ」9/20 4名 藤沢未来創造財団見学  10/18 6名 横浜市病院協会専門学校 1/12 1名 本郷中学校職場体験1/19 4名 本郷台小学校 6年  生「合唱」34組70名 11/15 3年生「牛乳パックで遊ぼう」 1/30 18組37名 普段関わることのない、  地域の小・中学生、高校生、大学生などと交流するよい機会となった。わが子の成長を重ね合わせている親  もいた。</p> <p>小学生は、乳幼児と関わることで、相手が喜び楽しめる工夫を考えるよい経験になった。</p>
<p>人材育成</p>	<p>D-プレママ・プレパパ向けの講座を実施し、乳幼児親子と交流し、出産後の生活をイメージできるように働き  かけた。参加人数が少なく次年度も重点的に妊娠期の方が繋がるための工夫や検討が必要とされる。区こ  ども家庭支援課・横浜栄共済病院だけでなく、横浜市南部病院、湘南鎌倉病院、地域の産院への働きかけも検  討。</p>

<p>ネットワ ーク</p>	<p>▼地域の子育て支援活動を活性化するためのネットワークの構築や推進に努めた。 ▼ネットワークを活かして、拠点利用者を地域へ繋ぐ役割を行った。 ▼当事者間のネットワークを構築し、当事者による子育て支援活動の推進に努めた。</p> <p>A-①さかえっ子の笑顔ひろげ隊では、子育て世帯を温かく見守る地域づくりを目指し活動を行った。 ＜主催：こども家庭支援課 事務局：こども家庭支援課・区社協・主任児童委員・拠点＞ 子育て関係者や親子・地域の方が集まる場所で「見守りの大切さ」「養育者と地域のつながりの大切さ」「相談先の周知」について啓発することができた。●にこりんく虹のふれあいコンサート 300部 ●命の授業西本郷中学校3年生4クラス ②栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 6/29 支援が必要な親子に対して、拠点が持っている特性に合わせた個別支援や居場所づくり、寄り添いなど発表し拠点の取り組みを紹介した。地域ケアプラザから障害児の居場所づくりについて参考にしたいと相談を受けた。</p>
<p>ネットワ ーク</p>	<p>③第1回栄区セーフコミュニティ推進協議会こども安全対策分科会に参加 7/25 拠点内での防災の取組を紹介。利用者へ事故予防の啓発グッズ年間200部配架し、フロア内でも事故予防パネルを掲示して事故予防に努めた。第2回こども安全対策分科会④セーフコミュニティ事前指導プレゼン参加 (9/10) 1名 栄区の取組についての発表を聞き、取組内容や表現方法、統計の読み取り方など他者に伝える方法を学ぶ良い機会となった。(児童虐待予防対策分科会・こども安全対策分科会に参加)</p> <p>⑤区内6か所の地域ケアプラザと連携し、地域の親子が参加したい講座を地域ケアプラザで開催したことで各地域ケアプラザとの連携が深まった。</p> <p>⑥豊田こどもネットワーク委員会に参加し、学齢期の子どもの居場所づくりについて検討を行った。年間11回ネットワーク委員会の繋がりから、豊田地域ケアプラザからの依頼で子育て家庭が第2子の出産に対し不安を持っている母親が多いことに対し、出産時に使える制度・サービスの情報提供の依頼が入り、地域サロンにて実施 9/15 25組 50名</p> <p>B 子育て支援団体連絡会では、区内の子育て支援をより充実したものとするため、団体同士が協力しそれぞれの強みを活かした支援ができるよう働きかけた。栄区で地域で子育て支援に関わる関係機関・団体などが情報収集・提供などを行うとともに、共有する課題について学ぶ機会を持つ事ができた。第1回「交流会情報交換」(6/8) 参加29団体 第2回「横浜市における児童虐待の現状について」 講師：石神 光氏 (中央児童相談所 虐待対応・地域連携課担当係長)「栄区の児童虐待の現状や、取組について」講師：佐藤保健師 (栄区こども家庭支援課 虐待対応調整チーム) 1/22 50名 第3回「横浜市の子育てを取り巻く現状・地域で必要とされている支援について」講師：近藤雅代氏 (栄区福祉保健センター センター長) 2/26 48名※ネットワークアンケートの意見をふまえ互いの強みを活かした連携が取れるように「つながるマップ」を作成。50団体※年間4回開催予定が台風のため10月は中止</p> <p>C- 青少年の地域活動拠点「フレンズ☆SAKAE」を利用する小・中学生をステーションまつりや栄区民まつりのボランティアとして受け入れた。高校生3名・小学生7名がボランティアとして役割をはたし、利用者と交流することで、自信や喜びにつながり、中学生からまたボランティアとして活動したいと意見がでてきた。 ・土曜日など拠点のフロアで行うボランティア(にこりんくボランティア)の協力を、青少年の地域活動拠点フレンズ☆SAKAEとの連携で行なった。区内中学校にフレンズ通信配架(ボランティア受入れについて)拠点でのボランティアをきっかけに中学校の職業体験先として拠点を選ぶ中学生もいた。 ・地域の関係機関(区社協・地域ケアプラザ・大学など)と連携し、多様な青少年と利用者を繋げる場となるよう互いの役割に応じて働きかけた【受け入れ人数については人材一カ参照】</p>

	<p>・ステーションの2階の多目的フロアを青少年の活動拠点「フレンズ☆SAKAE」、放課後デイサービス「びっころんど」と共有し、利用することで、養育者がそれぞれに来館する子ども達の活動を知るきっかけとなった。施設をまたいで利用している中学生もいた。（「青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE」「放課後デイサービス「びっころんど」を利用。にこりんくには学生ボランティアで交流など）</p> <p>Dー地域の子育て支援関係者・団体との繋がりができてきたことで、拠点に地域の子育て支援の情報が集まるようになり、にこニコマップやサロン・幼稚園・保育園などからのチラシを活用し、養育者を身近な地域のサロンや子育て支援の場に繋げることができた。</p> <p>Eー拠点近くの公田保育園が周知の為にチラシを持って来館し、親子により身近に感じてもらえるようにと拠点で手遊びやパネルシアターを行い周知活動を継続的に行った。利用者が保育園に遊びに行くきっかけとなった。</p> <p>Fーハマハグの加盟店の募集活動を行い、地域での子育て家庭への支援のネットワークが広がるよう努めた。 協賛店舗新規加入 31件 栄区版 おでかけマップを作成。</p> <p>Gー保育園園長会議にて拠点への未就園児プログラム、園情報の情報提供のお願いを行った。近隣園から未就園児情報が届き始めた。</p>
<p>子育てサポートシステム</p> <p>子育てサポートシステム</p>	<p>▼安心して子育てができるよう、地域ぐるみでの子育て支援や、仕事と育児を両立できる環境を作ることを目的とした会員制の有償の支え合い活動のサポートを行った。</p> <p>Aー①入会説明会チラシ、子育てサポートシステム通信を作成し、地域や関係機関・団体に配架を依頼。手に取りやすい名刺型のチラシを作成しステーション祭りで配布。(9/2 260部) 地域に向けて子育てサポートシステムの周知を行ったことで入会説明会の参加に繋がった。</p> <p>②今年度は小学校への周知は実施できなかった。次年度は名刺型チラシを栄区の小学校に配り、利用促進に繋がるよう働きかけていく。</p> <p>Bー①拠点新規登録時やお昼と夕方の集いの時間に子育てサポートシステムを周知。興味を持った利用者には丁寧な説明を行うことで、入会説明参加や会員登録に繋がった。</p> <p>②孫育て講座やボランティアで拠点に来館した地域の方々に、チラシを使って丁寧に子育てサポートシステムの周知を行った。</p> <p>Cー拠点から離れた地域に出向き、子育てサポートシステムの周知を行った。地域から入会説明会の参加や会員登録に繋がった。</p> <p><b>【周知先会場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンぼっかばか (7/11) ・支援者会場豊田地区センター (7/11)</li> <li>・支援者会场上郷地区センター (8/23) ・笠間支援者会場笠間地域ケアプラザ (9/15)</li> <li>・子育てサロンの～びのび (12/21・2/15)</li> </ul> <p>(10/26 5名) 出張説明会開催にあたって、打ち合わせや地域のサロン、ボランティア会議に出向いて周知を行い、各施設の館長や職員と顔の見える関係ができた。</p> <p>Dー①子育てサポートシステムの仕組みや、提供会員になるまでの工程をわかりやすく載せた提供会員募集チラシを作成。地域や各関係機関・団体に配下を依頼。栄区全域にも回覧板(7月)で回し、提供会員数が増えた。</p> <p>(回覧板からの予定者研修参加あり)(名刺型チラシをステーションまつり 260部配布、区民祭り 500部配布、にこりんく虹のふれあいコンサート 300部配布)</p>

子育て サポート システム	<p>②月ごとに開催曜日を変え（拠点開館曜日すべてで実施）入会説明会を行い、働いている方にも参加しやすいよう工夫を行った。年間23回 利用会員51名 提供会員9名 両方会員3名</p> <p>③提供会員拡大のため栄区の小学校に名刺型チラシを配る事が今年度はできなかったため、次年度実施する。</p> <p>④提供会員数の少ない地域や、拠点来館が困難な地域で入会説明会を実施し、子育てサポートシステムの周知を行うと共に、新たな会員登録獲得に繋がるよう努めた。</p> <p><b>【29年度 新規登録者利用会委員76人 提供会員5名 両方会員2 合計83名】</b></p> <p><b>【出張入会説明会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやこの駅ひろば（6/2 2名）・豊田地区センター（7/11 4名）</li> <li>・小菅ヶ谷地域ケアプラザ（10/3 3名）・千秀センター（2/21 4名）</li> </ul> <p>Eー拠点に集う養育者同士で子どもを預け合う時など、お互い会員であれば子育てサポートシステムを利用できることを拠点内の情報コーナーにてパネルを使って分かりやすく周知した。子育てサポートシステムへの質問が拠点内で増え、子育てサポートシステムの周知や、会員登録に繋げ合うことができた。</p> <p>Fー拠点業務にて、ひろばで養育者から、子どもの預け先や育児疲れ、または保育園送迎の不安などの相談があった場合、必要に応じて子育てサポートシステムを紹介。養育者の希望を丁寧に聞き取り、具体的なサポート案を提案することで、イメージを持つことができ会員登録に繋がった。</p> <p>Gー近日のサポート希望や、入会説明会の日程が合わない養育者には個別に希望日に合わせ入会説明を行い、即日の会員登録や、速やかなサポート活動に繋げることができた。</p> <p><b>【個別説明】</b>・おやこの駅ひろば（9/15、9/25 2名）・自宅（マンションロビーにて）（12/9 1名）</p> <p><b>【拠点内】</b>・要望があれば随時（11回13名）</p> <p>Hー①子育てサポートシステム通信春号（5月）、夏号（7月）、秋号（10月）、冬号（1月）を発刊し（600部）、全会員に郵送。登録更新の勧めや個人情報の取り扱い方（子どもを撮影禁止など、事例を含め）、子育てやサポート活動に役立つ、乳幼児救急救命法10/7 乳幼児応急処置法研修 2/24、いざという時の防災講座 3/31、会員同士の情報交換の場としての、会員交流会 6/30、11/29、2/28のお知らせ等を掲載し、より安心してサポート活動ができるよう情報提供に努めた。繰り返し注意喚起を行うことで、大きなトラブルもなく安全に活動を進めることができた。</p> <p>Iー利用会員からのサポート依頼時に、希望を丁寧に聞き取る。希望に合ったサポートの提案を行い、利用会員が選択したサポート内容に合った提供会員を探した。提供会員へのサポート依頼時、話し合いながら無理のないサポートになるようコーディネートを進めた。</p> <p>Jー①提供・両方会員交流会を行い、会員とコーディネーターが直接話す良い機会となった。それにより活動中の不安や疑問（活動中の具体的な対応など）、今後参加してみたい交流会（手作りおもちゃ、お茶等）のニーズを把握。コーディネーターとの信頼関係を深めその後のコーディネートに活かすことができた。</p> <p>②交流会時に利用・提供会員から上がった、子どもの安全についてのニーズに合わせ、サポート中や子育て中でも役立つ研修を拠点と連携して行い、提供会員が安心してサポート活動でき、利用会員は安心してシステムを利用できるように努めた。</p> <p><b>【乳幼児救急救命法10/7 2組】【乳幼児応急処置法2/24 3組】</b></p> <p><b>【いざという時の防災講座3/31 13組(父7名)】</b></p>
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<p>子育て サポート システム</p>	<p>③会員からサポート活動中の相談を受けた場合は、会員同士がより良い関係がきづけるよう働きかけ、求められているサポートに寄り添えるよう丁寧に対応した。必要に応じて会員同士の仲介や、新たなコーディネートを行ったことで、途切れることなくサポートを継続することができた。</p> <p>k-提供会員で活動機会の少ない方や、新規登録者には、入会説明会などの拠点ひろばでの保育を依頼。保育中の不安がある場合は拠点スタッフと連携し保育中のフォローを丁寧に行った。保育終了後、今後も自信をもってサポート活動ができるよう、お茶を飲みながら話を聞き、振り返りを行った。提供会員からでた、振り返りの意見を（困ったこと・良かったこと等）共有することで「フロアの保育ならではのできること」を考える良い機会となった。フロアでの保育は様々な親子の様子も見れ、提供会員にとっても勉強になり安心して活動できると感想が上がる。</p> <p>L-業務内容を日誌に記録し、コーディネーター全員が業務の進行具合を把握できるようにした。朝のミーティング時にコーディネートや業務の進め方、進み具合などを確認し合う。必要に応じてコーディネーターミーティング（年間4回）を行い、業務内容にずれがないか確認し、より良いサポート活動に繋げた。</p> <p>M-担当者会議や、ブロック会議などで聞いた情報をコーディネーター間で共有し、子サポ通信などで会員に注意を促した。（個人情報の取り扱い方、承諾を得ず子どもを写真撮影するなど）</p> <p>N-ケガなどの緊急時の対応を事前打ち合わせ時に提供会員・利用会員に確認。迅速に対応できるよう提供会員に促した。緊急時のコーディネーターの対応手順を再度確認し、迅速に対応できるようパネルを作成した。</p> <p>O-会員交流会を企画、実施。会員同士話すことで今後の活動のイメージができた新規の提供会員がおり、活動意欲に繋がった。交流会時に把握した会員からのニーズに合わせて、今後実施してほしい交流（手作りおもちゃ、お茶会など）を実施することができた。</p> <p>【提供・両方会員交流会「活動で使えるお手玉製作」6/30、5名】</p> <p>【全会員交流会「クリスマスリース作り」11/29、4組】【全会員交流会「ラテアート体験」2/28、9名】</p> <p>P-①リフレッシュ目的での利用に繋げるため、拠点ひろばでのお試し預かりを企画。入会説明会時に説明。お試し預かりの内容が分かるチラシを配布した。フロアで保育する提供会員の姿を見て、子育てサポートシステムに興味を示す利用者が増え始めた。</p> <p>②拠点プログラム時、兄弟の保育を希望される利用者に子育てサポートシステムでひろば預かりができることを、ひろばスタッフと連携し周知に努めた。拠点のプログラム時に、下の子とゆっくりと関わりたいプログラムについては上の子の預かり希望が入り、予約に繋がった。</p> <p>Q-お昼のつどい・帰りのつどいの時間に、ひろばスタッフと連携し子育てサポートシステムの内容や、リフレッシュ目的利用について周知を行った。新規登録者にもパンフレットを配布しながら丁寧に説明を行った。わかりやすい周知パネルを作り、拠点内に掲示し周知を行った。次年度も継続的に周知を行っていく。</p> <p>R-会員間の個人情報の取り扱いについて、入会説明会時や事前打ち合わせ時の両会員に対して、丁寧に説明。事前打ち合わせ時には、事前打ち合わせ票はファイリングして保管。サポート終了後にはシュレッターにかけるか利用会員に返すなど、具体的な対処法を伝え注意喚起を行った。</p> <p>子サポ通信春号、冬号にて、個人情報の取り扱いについての注意点を分かりやすく事例も一緒に掲載（写真や個人情報など）。全会員に配布し拠点を利用しない会員にも伝えた（600部）。会員交流会を企画、実施。会員同士話すことで今後の活動のイメージができた新規の提供会員がおり、活動意欲に繋がった。交流会時に把握した会員からのニーズに合わせて、今後実施してほしい交流会（手作りおもちゃ、</p>
------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>お茶会など)を実施することができた。</p> <p>S-母親の精神状態などの専門的対応を必要と考えられる相談があった場合は、施設長や横浜子育てパートナーを通して区子ども家庭支援課と定例会にて共有。緊急を要する場合は即日対応を行った。</p> <p>T-子育てサポートシステムでは対応できない病児保育や家事支援などの相談があった場合は、横浜子育てパートナーと連携を取り相談に合った情報提供を行い、区内で活用できる支援情報等を提供することができた。</p>
<p>利用者 支援事業</p>	<p>▼子育て期のいろいろな悩みごと、困りごとなどについて、専任スタッフが相談者の気持ちに寄り添いながら必要な情報を調べ、適切な支援機関の紹介を行った。(個室相談・ひろばでの相談・専用ダイヤル相談)</p> <p>○横浜子育てパートナーが相談者の気持ちに寄り添いながら必要な情報を調べたり、適切な支援機関の紹介等を行った。390件 (個室での相談・ひろばでの相談・専用ダイヤル相談)</p> <p>A-①保育教育コンシェルジュと連携し、拠点での保育教育コンシェルジュ相談日に保育園の入園情報等を収集すると共に、拠点で出ている養育者の保育園入園に関するニーズの提供を行った。</p> <p>(年間12回) 地域情報の中で特に利用者からのニーズの高い幼稚園・保育園に保育教育コンシェルジュと共に出向き事業説明と未就園児プログラム等を見学し、紹介・仲介に活かした。</p> <p>(幼稚園訪問 年間4回・保育園訪問 年間6回)</p> <p>②男女共同参画センターを訪問し、相談事業の確認や当事者同士の集まりについて情報収集し、拠点で行なっている相談やプログラムについて説明した。6/20 性暴力の被害者の集まりなど電話のみの相談者に情報提供するが利用には繋がらなかった。また拠点で行うひとり親の事業の見学を受け入れ、拠点事業の協力を依頼した。</p> <p>③ひとり親サポート横浜からサロンや事業の紹介をうけ、相談者に仲介した。次年度のひとり親の会のサポート、講師派遣の依頼を行った。</p> <p>B-拠点内の相談対応について施設長に随時報告し支援策の振り返りを行なった。継続相談のケースでは保育園やつどいのひろば、(おやこのひろば)サポートセンター、子育てサポートシステムの利用状況等を把握しながら、拠点での支援策を検討した。</p> <p>C-区との定例会でケース対応の報告を行い、子どもの発達状況や家庭状況に応じて対応方法の確認を行なった。区の検診での状況等を確認し、相談に対する方向性の確認を行った。(年間12回)</p> <p>D- 相談対応した利用者のニーズから当事者の集まりを実施した。</p> <p>①ひまわりの会(ひとり親の会 各月開催)会の母親からの要望で、横浜市子ども青少年局子育て支援課に依頼し、ひとり親サポート横浜から講師派遣してもらい「ひとり親ならではの子育てのコツ」講座で父親について伝える時期や伝え方について話を聞き、不安の解消に繋がったという声が聞かれた。</p> <p>9/8 参加者3組6名</p> <p>②アレルギーを持つ子のママの会を開催 7/5 5組10名 アレルギーの診断を受けている子を対象に開催。養育者同士が繋がることで、不安の解消やアレルギー情報を交換することができた。会終了後、他の母親からも参加したいとの声があり後期も実施。12/15 10組20名 喘息や震災時の対応について情報交換を行なった。参加者からの情報提供もあり、希望者に配布した。</p> <p>③にこりんくで遊ぼう(発達に心配のある子生まれ 8/2 1名)参加者が少なかったことから今後の開催方法や拠点の環境を検討した。→1・気軽に参加できるようネーミングを変更し、ぷちおやこ遊び(集団遊びが苦手な親子対象)とした。港南療育センターに拠点の環境について視察を依頼した。拠点の取り組み</p>

<p>利用者 支援事業</p>	<p>内容や環境設定について助言を得ることができた。2/16（クールダウンのコーナーは数か所あり良い。個に応じた対応・支援をを今後もひき続き行っていく。課題としては気持ちの安定につながるような感覚遊びの手作りおもちゃをフロアに提供していく。</p> <p>④集団遊びが苦手だが、みんなと同じ遊びを体験したいという意見から「ぷちおやこあそび」（5名程度のおやこ遊び）を開催。年間5回※10月以降開催し、親子の発達や集団遊びに対する不安を傾聴し、より小人数で行うことで、自信を持つことが出来るように働きかけた。参加者からは集団の中に入れず、拠点に来づらい思いをしていたが少数人数で親子共々安心して参加できて嬉しいと言う声が聞かれ、遠のいていた拠点に足を運ぶきっかけとなった。</p> <p>⑤相談対応した利用者の個別の課題に対応するため拠点の環境を整えたり、個別の支援をチームで行った。</p> <p>⑥個別ケース対応のお子さんに対して、昼食時に個室（研修室）の提供・拠点内の刺激の軽減（水道の目隠し、音楽の調整など）帰宅時の見送り等を丁寧に行った。親子が安心して継続的に拠点を利用することができた。</p> <p>⑦子どもとの関わり方がわからない母親に対し、拠点での個別の親子遊び実施に繋がった。母親は拠点で行ったことを家庭でも実践し、子どもとの遊びがスムーズにできるようになり、母子関係以外にも祖父母との関係も遊びを通して改善した。</p> <p>⑧子育てサポートシステムと連携し、子育てサポートシステム利用依頼や入会申し込みがあったが、対応が難しいケースではパートナーが引き継ぎ、地域情報の提供を行いサービスの利用に繋がった。</p> <p>⑨地域のサロンから依頼を受け「第2子出産時に使える地域情報」の講座を豊田地域ケアプラザ「子育てティーサロン」で行った。利用者以外に、支援者からも知らない制度があり参考になったと話があった。9/15 25組 50名</p> <p>Eー拠点通信に毎月利用者支援事業の内容を掲示し拠点から遠い地域の方への周知を行うことができた。</p> <p>Fー子育て支援者会場 4/18 ひろば（年間10回）サロン（年間8回）育児教室（年間6回）にて周知を行ったことで、地域の団体や支援者と繋がりができ、地域の支援者からの紹介ケースや地域の要望を聞くことができた。</p> <p>Gー ①子育て支援団体連絡会にて周知を行った 6/8 つながるマップにも情報を掲載し各団体利用者への周知を依頼。</p> <p>②栄区広報にて子育てパートナーの紹介記事を掲載されたことで、拠点利用者に改めて事業の周知をすることができた。（広報さかえ1月号）</p> <p>Hーステーション祭りにあわせ、利用者支援事業と子育てサポートシステムの載った携帯できる名刺サイズのチラシを作成。ステーション祭り 300部、区民祭り 500部、にこりんく虹のふれあいコンサート 300部配布しより多くの市民に周知することができた。</p> <p>Iーフロアに似顔絵入りポスターの掲示や利用者支援事業で行うプログラムとともに昼夕のインフォメーションで周知したことで、ひろばでの相談から、スムーズに利用者支援事業の情報提供や相談に繋がることができた。</p> <p>Jー①拠点のひろばや子育てサポートシステムと連携し情報の収集を行った。</p> <p>情報提供しやすいように細かくジャンルに分けた情報ファイルを作成。地域の子育て支援団体などに出向き、直接情報を収集したことで利用者により具体的な情報を提供することができた。特に新設された施設・保育園などの</p>
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

利用者支援事業	<p>説明会にてむき、新しい情報を収集した。子育て支援者会場（年間1回6会場）・サロン（年間7回）                  ・保育園（年間6回）・幼稚園（年間4回）・つどいのひろば（年間10回 およこのひろば・                  およこの駅ひろば）男女共同参画センター 6/20 ・保土ヶ谷区青少年の活動拠点 9/15</p> <p>②就学にむけた情報が知りたいとの相談があり、情報を収集し、提供した。</p> <p>③子育てパートナー定例会に参加し（年11回）他区の情報を収集し、栄区の利用者に対し情報の提供や紹介を行った。</p> <p>④地域の講座や研修に参加し情報の収集を行った。「アスペルガー当事者の話」6/13 「障害を持つ子の親・当事者の話」7/18 「認知症キャラバンメイト養成講座」8/9 「みんなでおしゃべりワークショップ」9/15 「セーフコミュニティ講座」10/11 「地域子育て支援フォーラム」12/1 「個に応じた適切な支援のあり方」1/20 横浜子育てパートナーフォローアップ研修①「産前産後に関わる制度などについて」講師：こども青少年局・親子保健係②「産後うつなどの支援について」横浜市立大学付属総合医療センター 精神看護専門看護師：遠藤恵美氏 3/27</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6)開設時間 10時～16時（休館日：日・月・祝 年末年始）※拠点が定める休館日

(7)収入内訳 補助金 34,206,680円 利用料0円（入館料無料）

(8)年間行事 ※活動実績については事業報告参照

4月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供☆パパママ一緒にふれあいあそび ●防犯のお話
5月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ☆パパたち集まれ ★交流支援（ひまわりの会）
6月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●歯のお話（1歳）●離乳食のお話（0歳）●幼稚園ママ ☆パパたち集まれ ●食についてJA共催
7月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●にこりんくの七夕●イヤイヤ期の（2歳） ☆パパたち集まれ ※お祭り企画開始 ★プレママ・パパ「おはなで遊ぼう」★交流支援（ひまわりの会）
8月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●水遊び ☆パパママ一緒にふれあいあそび
9月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●ステーション祭り ●絵本カフェ●孫育て講座 ☆パパたち集まれ ★交流支援（ひまわりの会）
10月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●救急救命法 日本赤十字 ●にこりんく運動会「パパママ一緒に運動あそび」 ◆子育てサポートシステム予定者研修会
11月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●区民祭り ★プレママ・パパ「おはなで遊ぼう」★交流支援（ひまわりの会）
12月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供●にこりんく虹のふれあいコンサート●消防署事故予防について
1月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●豆まき●合同保育講座（共催：公立保育園・にこりんく）★交流支援（ひまわりの会）
2月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●にこりんくひなまつり ●0ちゃん「歯の話」 ●応急処置法 日本赤十字 ☆パパママ一緒にふれあいあそび
3月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ★プレママ・パパ「おはなで遊ぼう」 ●ボランティア、講師交流会 ●入園を控えたみなさんへ●防災講座 ☆パパたち集まれ

親と子のつどいの広場

**OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば**

(1) 事業内容

事業名称 OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば

対 象 0歳～未就学児とそのご家族の方 妊娠中の方

(2) 所在地

横浜市栄区上郷町 106-1 第2 ミサキビル 101号

TEL・Fax 045-892-1030

(3) 職員 6名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	3	3

(4) 年間利用者数

活動日数	227日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	2929人 (利用組数 1301組)
平均利用者数	12.9人/日 (平均利用組数 5.7組/日)

実績表※月別の詳細は以下票を参照

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均 利用者数	率
開催日数	19日	19日	21日	18日	20日	19日	20日	18日	18日	17日	18日	20日	227日		
0才児	40	35	59	61	48	48	34	46	30	18	29	30	478	2.11	29.6
1才児	30	41	46	50	39	32	27	30	44	34	30	55	458	2.02	28.4
2才児	41	24	38	33	18	30	16	27	29	19	22	29	326	1.44	20.2
3才児	11	3	11	18	30	24	17	24	38	35	29	42	282	1.24	17.5
4才児	9	3	7	10	9	3	3	5	2	5	3	11	70	0.31	4.3
5才児															
6才児															
就学児															
子ども小計	131	106	161	172	144	137	97	132	143	111	113	167	1614	7.11	100
父	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	0.02	0.3
母	99	96	128	126	100	105	81	98	105	79	84	124	1225	5.40	93.3
祖父	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0.2
祖母	0	0	0	0	0	1	0	6	5	2	2	2	18	0.08	1.4
本人以外の 子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	6	10	9	4	5	5	3	2	8	0	8	63	0.28	4.8

親等小計	102	102	140	135	104	111	86	109	113	89	87	135	1313	5.78	100
合計	233	208	301	307	248	248	183	241	256	200	202	302	2929	12.9	100

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

「命を大切に」「ふれあいの輪を広げる」「今という瞬間、その時を大切に」の団体理念を基に、様々な機関と地域のつながりを築き子育て支援の輪を広げる。

お や こ の 居 場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の方や顔見知りではない親子に共通の話題を提供し、会話が発展するように配慮した。</li> <li>・月1回赤ちゃんの日を設け、同じような月齢の子どもを持つ楽しさや悩み等、情報交換や繋がりを持てる場を提供した。</li> <li>・常に利用している利用者が多い時は、他の利用者が居心地良く過ごせるように配慮した。</li> <li>・利用者が孤立しないよう配慮し、新規の利用者も落ち着いて過ごせるよう、常に笑顔を忘れず余裕ある対応を心掛けた。</li> <li>・季節ごとの製作は特に喜ばれ、家に飾ったり祖父母に見せた等の話や、以前の作品を取っておいて成長を実感した等の声が聞かれた。</li> <li>・月に一度の「ぴよんちゃんとおそぼう」でのイベントは、参加人数が少ない時もあった。その他のイベント(ミニ運動会等)も、参加した利用者からは、家ではなかなかできない活動に子どもの成長を感じた等の声が聞かれた。</li> <li>・多人数が苦手な保護者は、来所前に電話でひろばの様子を確認することがあった。</li> <li>・小麦粉粘土や新聞紙遊び等が目的でなく、ゆったり過ごすことが目的で利用する人も多くいた。</li> <li>・お迎えとお見送りの時は特に大切な時間とし、安心安全を心掛けた。帰宅の際は、ひろばに居るスタッフや利用者でお見送りを行った。</li> </ul>
子 育 て 相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの相談を受けた場合、丁寧に寄り添い共感を心掛けた。スタッフ間でも情報を共有し、個別対応が必要なケース等は、月1回のミーティングでスタッフ間で話し合った。</li> <li>・スタッフ同士の話し合いを大切にし、共通理解のもと個々のケースに対応した。</li> <li>・相談については、安心して話せる雰囲気大切に、内容によっては周りの利用者に声をかけ、当事者同士の話ができるよう働きかけた。</li> <li>・1才半や3才児健診に不安を持つ母達に、年上の子を持つ母から経験談を聞いた。皆同じではないが、身近な母達からの話に雰囲気が和らいだ。</li> <li>・離乳食の食生活に対する不安や疑問を、栄養師に相談する機会を設けた。少人数でもあり、子どもを遊ばせながらじっくりと相談できた。</li> <li>・保育園の先生に来てもらい、親子遊びや子どもの対応の仕方について学ぶ機会を設けた。好評のため次年度も継続予定。</li> <li>・ケースによっては、区こども家庭支援課や横浜子育てパートナーと連携をとった。</li> <li>・何気ない会話からDVと思われる話が聞かれた。拠点の横浜市子育てパートナーや区の保健師に繋いだ。</li> <li>・2・3才児は反抗期と第2子出産が重なり、母からイライラするという声が多く聞かれた。手をあげる姿も見られた。その都度母親に寄り添いながら、具体的な関わり方について一緒に考える機会を設けた。</li> </ul>
情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の回覧板や広報の子育て内容をひろば内に掲示し、利用者に情報提供した。</li> <li>・近隣在住のスタッフが得た子育て情報を、ひろばで掲示する等して提供した。</li> </ul>

報 提 供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお祭り等の情報や幼稚園でのイベント、保育園の園庭開放等を伝える中、参加した利用者から色々な話が聞かれ、参加しなかった利用者と情報共有が行われた。</li> <li>・近隣施設(中野地域ケアプラザ、桂台地域ケアプラザ、上郷地区センター、栄区地域子育て拠点にこりんく、おやこの駅ひろば)等のイベント情報を提供した。</li> <li>・おやこのひろば通信を年間通して発行、近隣施設に提供し配架をしてもらった。</li> </ul>
子 育 て 支 援 に 関 す る 講 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回わらべ歌(79組 183名)、赤ちゃんの日(65組 132名)、小麦粉粘土(42組 88名)、新聞紙遊び(40組 96名)、お誕生会(30組 64名)、月4回程度タオル遊び(親子遊び・88組 186名)</li> <li>・季節の行事にちなんだ製作… 4/25～5/2 子どもの日製作(16組)、7/10～7/14 水遊び製作(13組)、9/11～9/15 敬老の日製作(9組)、10/12～10/18 ハロウィン製作(19組)、1/23～2/2 節分製作と鬼の豆入れて(20組 40名)、2/27～3/2 お雛様製作と顔出しパネル(10組)</li> <li>・その他のミニイベント… 6/28.29 リユースしよう(19組)、8/18～8/24 ごろりんアートウィーク(19組)、9/26 幼稚園ママの話(6組)、12/4～12/8 折り紙で遊ぼう(14組)</li> <li>・月1回有料イベントびよんちゃんと遊ぼう… 4/26 春のお散歩(6組 13名)、5/24 親子で遊ぼう(14組 28名)、6/16 七夕飾り(9組 18名)、7/26 親子でこころと身体遊び(20組 46名)、8/7 野菜のスタンプ(6組 16名)、9/19 ミニ運動会(16組 35名)、10/24 プレイアートピカソになれ(10組 20名)、11/13 親子ヨガ(8組 20名)、12/13 もうすぐクリスマス(23組 48名)、1/17 外遊び(6組 14名)、2/6 親子ヨガ(9組 18名)、3/16 人形劇(12組 28名)</li> <li>・7/4 栄区消防士による子育て家庭における防災・幼児救急救命について1回(2組 4名)</li> <li>・7/18 ムーブメント遊び1回(7組 15名)、11/15 桂台保育園の先生による育児相談(8組 16名)</li> <li>・1/11 区の栄養士による離乳食相談1回(1組 2名)</li> <li>・毎日ランチ前と閉館前に手遊びや絵本の読み聞かせを行った。</li> </ul>

(6) 開設時間 10時～15時(休館日:土・日・祝・第4月曜日 8/12～14、12/28～1/4)

(7) 収入内訳 利用料 100円

## (8) 年間行事計画

月	日	イベント内容	開催場所	参加人数
4月	26日	春のお散歩	いたち川～公園	13名(6組)
5月	24日	親子で遊ぼう	中野地域ケアプラザ	28名(14組)
6月	16日	七夕飾り	おやこのひろば	18名(9組)
7月	26日	親子でこころと身体遊び	中野地域ケアプラザ	46名(20組)
8月	7日	野菜のスタンプ	おやこのひろば	16名(6組)
9月	19日	ミニ運動会	桂台地域ケアプラザ	35名(16組)
10月	24日	プレイアート	中野地域ケアプラザ	20名(10組)
11月	13日	親子ヨガ	上郷地区センター	20名(8組)
12月	13日	クリスマス会	JA 横浜本郷台東支店	48名(23組)
1月	17日	外遊び	六反町公園	14名(6組)
2月	6日	親子ヨガ	中野地域ケアプラザ	18名(9組)
3月	16日	人形劇	おやこのひろば	28名(12組)

## 毎月開催活動

◆新聞紙遊び ◆小麦粉粘土 ◆赤ちゃんの日 ◆お誕生会 ◆わらべ歌

## 毎週開催活動

★親子遊び(タオル遊び)

## 製作

4月…子どもの日製作    7月…水遊び製作    9月…敬老の日製作  
10月…ハロウィン製作    1月…節分製作    2月…お雛様製作

## 区、および「にこりんく」主催イベント

- ◆さかえ次世代交流ステーション ステーションまつり(9/2)
- ◆栄区民まつり(11/11)
- ◆にこりんく虹のふれあいコンサート(12/2)



親と子のつどいの広場

OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば

(1) 事業内容

事業名称 OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば  
 対 象 0歳～未就学児とそのご家族の方、妊娠中の方、子育て支援や活動に興味のある方

(2) 所在地 横浜市栄区笠間 4-11-6 グランフォレスト 1-B

TEL・Fax 045-895-6320

(3) 職員6名

職名	保育士	その他
人数	2	4

(4) 年間利用者数

	ひろば利用	一時預かり利用
活動日数	228日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)	224日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	3963人(利用組数1820組)	65人(総利用時間189.5時間)
平均利用者数	17.4人/日(平均利用組数8.0組/日)	0.29人/日(平均利用時間2.9/時間)

※『ひろば利用実績表』

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均 利用者数	率 (%)
開所日数	19日	19日	21日	19日	20日	19日	20日	18日	18日	17日	18日	20日	228日		
0歳児	35	29	53	53	37	53	50	66	61	65	72	64	638	2.8	29.8
1歳児	64	38	37	29	34	66	30	46	41	27	26	52	490	2.1	22.9
2歳児	56	58	86	62	72	89	73	51	49	33	36	38	703	3.0	32.9
3歳児	16	20	21	29	17	10	8	14	12	15	22	34	218	0.9	10.2
4歳児	7	4	3	5	18	5	6	7	11	6	3	15	90	0.3	4.2
5歳児															
6歳児															
就学児															
子ども小計	178	149	200	178	178	223	167	184	174	146	159	203	2139	9.6	100
父	0	1	0	2	3	0	1	1	0	0	1	1	10	0	0.5
母	152	126	173	153	131	188	144	154	144	125	133	164	1787	7.8	98
祖父	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
祖母	2	1	2	4	2	2	1	2	3	1	3	4	27	0.1	1.5
本人以外の子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

親等小計	154	128	175	159	136	190	146	157	147	126	137	169	1824	7.9	100
合計	332	277	375	337	314	413	313	341	321	272	296	372	3963	17.4	100

※ 『一時預かり利用実績表』

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
開所日数	19日	19日	20日	19日	20日	18日	19日	18日	17日	17日	18日	20日	224日	(%)
0歳児	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5	6	4	20	31
1歳児	1	0	4	2	0	3	3	0	0	0	2	3	18	28
2歳児	7	2	4	2	2	1	1	0	0	3	1	3	26	40
3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4歳児以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
預かり児童数	9	2	8	4	3	4	4	1	3	8	9	10	65	100
利用者(養育者数)	9	2	8	4	3	4	4	1	3	8	9	10	65	
0歳児	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	3.00	6.50	11.50	14.00	12.50	51.50	27
1歳児	2.00	0.00	14.00	8.00	0.00	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	8.00	6.00	45.00	24
2歳児	17.00	5.50	15.00	8.00	8.00	3.50	9.50	0.00	0.00	10.50	4.00	10.00	91.00	48
3歳児	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
4歳児以上	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1
総利用時間	21.00	5.50	29.00	16.00	12.00	6.50	13.50	3.00	6.50	22.00	26.00	28.50	189.50	100

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

「命を大切に」「ふれあいの輪を広げる」「今という瞬間、その時を大切に」の団体の理念を基に、様々な機関と地域のつながりを築き子育て支援の輪を広げる。

<p>おやこの居場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児が安心して集い、また異年齢同士が交流をする中で、兄弟姉妹のように関わりが持てるよう働きかけた。</li> <li>・利用者同士が交流を持つことで、互いに視野を広げられるきっかけとなるよう働きかけた。</li> <li>・家庭のような雰囲気大切に、利用者がゆったりとくつろげる場を提供した。</li> <li>・少し疲れていたり体調がすぐれないような保護者には、スタッフが子どもの相手をするなどしてゆっくり過ごせるように配慮した。</li> <li>・新規利用者には、ひろばの説明を丁寧に行い、安心して利用できるよう働きかけた。</li> <li>・笠間地域ケアプラザで年間3回の出張ひろばの実施を行い、親子のふれあい遊びや、子どもたちが活発に遊べる環境を提供した。</li> </ul>
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>子育て相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフは身近な相談相手として、利用者が一人で悩みを抱え込まないように寄り添うよう努めた。</li> <li>・相談者が自ら解決し不安を解消できるよう寄り添い支援した。</li> <li>・特別な配慮が必要なケースについては、横浜子育てパートナーや専門機関と連携しながらきめ細やかなサポートを行った。</li> <li>・個人情報守秘義務を遵守し、プライバシーには十分配慮し対応を行った。</li> </ul>
<p>情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コーナーを設け、区内外からの多様な情報を随時わかりやすく提供した。</li> <li>・インフルエンザや感染症の流行時期は、来所時に手洗いを徹底して行ってもらおうよう声掛けを行った。</li> <li>・プログラム等の情報があるときは、利用者の送迎時やランチタイム前などで周知した。</li> </ul>
<p>子育て支援に関する講習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろば時間内に、毎回手遊びや絵本の読み聞かせ、ふれあい遊び等を行い、親子のふれあいの大切さを伝えた。利用者からは「ひろばで歌った歌を、家でも何回も歌っています。」等の、声が聞かれた。</li> <li>・季節にちなんだ遊びや製作などを、出張ひろばやひろば内で行い、家庭でも気軽にできる親子の遊びを紹介した。家ではできない遊びや製作を体験でき、親子で楽しませてもらった等の感想も聞かれた。</li> <li>・年間を通して、おやこ遊びや米粉粘土遊び、新聞紙遊びやリトミックなど、親子で様々な経験ができる機会を提供した。体を動かしたダイナミックな遊びができてよかったと喜ばれた。</li> <li>・年齢に応じた遊びの提供ができるよう、スタッフ一人ひとりのスキルアップを図った。</li> <li>・スタッフのスキルアップや知識向上のため、子育て支団体連絡会やBブロック会議、毎月栄区地域子育て支援拠点で行う研修等を積極的に活用し実践に生かした。</li> </ul> <p>研修内容（個人情報守秘義務振り返り、記録作成の仕方、乳幼児救急救命法、一時預かり研修（3日間）、不審者対応、児童虐待の現状、横浜市の子育てを取り巻く現状と地域で必要とされている支援について）</p>

**(6) 開設時間**

9時30分～15時30分（休館日：土、日、第4月曜、祝日、夏期8/12～14、年末年始12/28～1/4）

**(7) 収入内訳**

利用料 ひろば利用料：100円/日（大人1人につき）

一時預かり利用料：400円/時間

(8) 年間行事計画

月	主な活動	備考 (年度内調整)
4月	・シャボン玉遊び(8組18名)・おやこ遊び(5組10名) ・こいのぼり製作(5組10名)・リトミック(5組13名)・米粉粘土(8組17名) ☆手遊び、絵本読み	※毎月第4月曜日 ミーティング 研修
5月	・新聞紙あそび(3組6名)・母の日(5組11名)・おやこ遊び(5組11名) ・シャボン玉遊び(4組10名)・米粉粘土(6組13名) ・避難訓練3回(10組18名)・リトミック(1組2名) ☆手遊び、絵本読み	
6月	・6/8 出張ひろば(運動あそび、風船あそび、手遊び、絵本読み)(2組4名) ・子育てサポートシステム入会説明会(2組2名)、おやこ遊び(6組12名) ・リトミック(6組7名)・父の日(6組14名)・シャボン玉遊び(6組12名) ・七夕飾りを作ろう(7組15名) ☆手遊び、絵本読み	
7月	・水遊び4回(39組55人)・七夕会(6組12名)・シャボン玉遊び(3組6名) ・リトミック(1組2名)・紙芝居の日(3組7名)・おやこ遊び(3組7名) ☆手遊び、絵本読み	
8月	・水遊び2回(11組22名)・シャボン玉遊び(5組12名)・リトミック(2組6名) ・おやこ遊び(7組9名) ☆手遊び、絵本読み	
9月	・9/14 出張ひろば(ミニ運動会、障害物競争、買い物ごっこ、玉入れ、手遊び、絵本読み)(16組34名) ・新聞紙あそび(10組20名)・シャボン玉遊び2回(9組18名) ・子育て支援サポートシステム出張説明会2回(2組3名) ・避難訓練2回(6組13名)・お絵かき(7組14名)・リトミック(2組4名) ☆手遊び、絵本読み	
10月	・米粉粘土(2組4名)・折り紙遊び(4組8名)・おやこ遊び2回(6組13名) ・リトミック(2組4名)・ハロウィンパーティ(14組31名) ☆手遊び、絵本読み	
11月	・シャボン玉遊び(3組6名)・新聞紙あそび(9組10名) ・リトミック(8組17名)・おやこ遊び(5組10名)・米粉粘土(11組26名) ☆手遊び、絵本読み	

12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12/14 出張ひろば(クリスマス会、運動あそび、パネルシアター、リース作り、手遊び、絵本読み) (20組 43名)</li> <li>・虹のふれあいコンサート・おやこ遊び(5組 10名) ・新聞紙遊び(6組 13名)</li> <li>・米粉粘土(3組 6名)・リトミック (4組 8名)・クリスマス会(4組 9名)</li> </ul> <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉粘土 (10組 12名)・おやこ遊び2回 (12組 19名)</li> <li>・リトミック (8組 14名)・ 切り紙雪だるまを作ろう (11組 22名)</li> </ul> <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉粘土 (4組 8名)・おやこ遊び (5組 11名)・リトミック (8組 16名)</li> <li>・おひな様飾りを作ろう (10組 21名)・新聞紙遊び (7組 15名)</li> </ul> <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉粘土 (6組 14名)・新聞紙遊び (3組 5名)・リトミック (4組 9名)</li> <li>・手形アート (14組 30名)・おやこ遊び (6組 13名)</li> </ul> <p>☆手遊び、絵本読み</p>	

### 横浜市乳幼児一時預かり事業(通常型)

(1) 事業内容

事業名称 OYAKOCLUB チューリップ保育室  
 対 象 生後57日～就学前

(2) 所在地 横浜市栄区公田町497-7こみね第一ビル1F

TEL・fax 045-896-6262

(3) 職員 12名

職名	保育士	その他
常勤	1	0
非常勤	6	5

(4) 年間利用者数

活動日数	244日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	3,512人
平均利用者数	14人/日

※月別の詳細は以下票を参照

一時預かり

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
稼働日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	21日	244日	(%)
0歳児	25	36	74	62	48	36	50	52	46	43	67	54	593	17
1歳児	85	104	114	87	44	71	81	131	123	123	141	165	1269	36
2歳児	88	71	95	109	90	73	82	88	57	50	70	60	933	27
3歳児	40	15	23	33	36	31	39	54	83	43	50	69	516	15
4歳以上	9	4	1	19	44	6	11	19	29	10	7	42	201	5
合計	247	230	307	310	262	217	263	344	338	269	335	390	3512	60.2
平均利用人数	12	12	14	16	12	11	13	17	17	14	18	19	14	
予約	323	267	379	369	331	277	325	391	420	355	380	473	4720	
緊急預かり	0	0	1	0	2	0	1	1	3	1	1	2	12	
新規登録	22	19	25	17	14	15	17	24	15	11	21	11	211	

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

事業目的1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的としている。

事業目的2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境の中、健康で過ごせる環境を保障する。

<p>保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをし、いつも暖かい目線で気を配り対応した。</li> <li>子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮した。</li> <li>対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係の構築に努めた。</li> <li>保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮した。</li> </ul>
<p>健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じた健康観察や身体測定を行った。</li> <li>感染症の早期発見や拡大防止の対応を丁寧に行った。</li> <li>一人ひとりの様子を確認し体調の異変、感染症や虐待等の早期発見にも繋げた。</li> <li>生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや仕方を伝えた。</li> <li>飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認を行った。</li> <li>衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルの整備確認を行った。</li> </ul>
<p>安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月避難訓練を実施した（地震・火災・不審者）</li> <li>施設、備品の安全点検および清潔の保持に努めた。</li> <li>乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためブレスチェックを徹底した。</li> <li>ヒヤリハットの原因確認と情報共有。</li> <li>遊具、玩具の安全点検、消毒の徹底を行った。</li> <li>遊具、玩具の安全点検、消毒を徹底した。</li> </ul>
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士による子育て相談を随時行った。</li> <li>実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えた。</li> <li>区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応した。</li> <li>必要時に応じては障害、軽度発達障害の専門機関と連携を取った。</li> </ul>

(6)開設時間 9時～17時（お休み：土・日・祝 年末年始）

(7)収入内訳

一時預かり補助金	10,681,980円
震災対策物品購入補助金	30,000円
保育料	5,286,600円

## (8) 年間行事計画

月	主な活動
4月	歌→チューリップ 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→こいのぼり 避難訓練 4/28 身体測定 4/24～28
5月	歌→おはながわらった 手遊び→はじまるよ 製作→変身アンパンマン 避難訓練 5/29 身体測定 5/29～31
6月	歌→こたりのうた 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→傘 避難訓練 6/21 身体測定 6/29～30
7月	歌→シャボン玉 手遊び→おおきくなったらなんになる 製作→スイカ 避難訓練 7/25 身体測定 7/25～31
8月	歌→飛んでったバナナ 手遊び→ピクニック 製作→魚とクラゲ 避難訓練 8/3 身体測定 8/28～31
9月	歌→とんぼのメガネ 手遊び→3匹の子ブタ 製作→いもむしくん 避難訓練 9/22 身体測定 9/25～30
10月	歌→虫の声 手遊び→秋の実ケーキ 製作→ハロウィンキャンディーBOX 避難訓練 10/31 身体測定 10/26～31
11月	歌→どんないろがすき 手遊び→クリスマスケーキ 製作→クリスマスリース 区民祭り 11/11 避難訓練 11/10 身体測定 11/27～30
12月	歌→あわてんぼうのサンタクロース 手遊び→もみのき 製作→だるまさん 虹のふれあいコンサート 避難訓練 12/28 身体測定 12/25～27
1月	歌→北風小僧の寒太郎 手遊び→おにのパンツ 製作→鬼パペット 避難訓練 1/17 身体測定 1/29～31
2月	歌→たきび 手遊び→のねずみぶたのとうさん 製作→おひなさま 避難訓練 2/27 身体測定 2/26～28
3月	歌→やぎのゆうびん屋さん 手遊び→ちよきちよきダンス 製作→ひらひらちょうちょ 避難訓練 3/26 身体測定 3/26～3/30



## 認可外保育

(1) 事業内容

事業名称 OYAKOCLUB チューリップ保育室  
 対象 生後57日～就学前

(2) 所在地 横浜市公田町497-7こみね第一ビル1F

TEL・fax 045-896-6262

(3) 職員 12名

職名	保育士	その他
常勤	1	0
非常勤	6	5

(4) 年間利用者数

活動日数	244日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	一時預かり3512人 / 市外99人 / 時間外36人
平均利用者数	16人/日

※月別の詳細は以下票を参照

一時預かり

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
稼働日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	21日	244日	(%)
0歳児	25	36	74	62	48	36	50	52	46	43	67	54	593	17
1歳児	85	104	114	87	44	71	81	131	123	123	141	165	1269	36
2歳児	88	71	95	109	90	73	82	88	57	50	70	60	933	27
3歳児	40	15	23	33	36	31	39	54	83	43	50	69	516	15
4歳以上	9	4	1	19	44	6	11	19	29	10	7	42	201	5
合計	247	230	307	310	262	217	263	344	338	269	335	390	3512	60.2
平均利用人数	12	12	14	16	12	11	13	17	17	14	18	19	14	
予約	323	267	379	369	331	277	325	391	420	355	380	473	4720	
緊急預かり	0	0	1	0	2	0	1	1	3	1	1	2	12	
新規登録	22	19	25	17	14	15	17	24	15	11	21	11	211	

市外・時間外

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	21日	244.日
0歳児	0	2	3	0	0	3	2	4	0	0	0	0	14
1歳児	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	2	3	12
2歳児	3	2	6	1	3	3	3	6	4	4	4	6	45
3歳児	7	1	0	3	0	0	1	2	0	0	2	2	18
4歳以上	0	1	0	2	1	1	2	2	0	0	0	1	10
合計	10	6	9	7	4	7	8	14	10	4	8	12	99
時間外	11	0	6	3	0	0	2	2	3	4	0	5	36

(6) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

- 事業目的1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的としている。
- 事業目的2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境の中、健康で過ごせる環境を保障する。

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをし、いつも暖かい目線で気を配り対応した。</li> <li>子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮した。</li> <li>対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係の構築に努めた。</li> <li>保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮した。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じた健康観察や身体測定を行った。</li> <li>感染症の早期発見や拡大防止の対応を丁寧に行った。</li> <li>一人ひとりの様子を確認し体調の異変、感染症や虐待等の早期発見にも繋げた。</li> <li>生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや仕方を伝えた。</li> <li>飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認を行った。</li> <li>衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルの整備確認を行った。</li> </ul>
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月避難訓練を実施した（地震・火災・不審者）</li> <li>施設、備品の安全点検および清潔の保持に努めた。</li> <li>乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためブレスチェックを徹底した。</li> <li>ヒヤリハットの原因確認と情報共有。</li> <li>遊具、玩具の安全点検、消毒の徹底を行った。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士による子育て相談を随時行った。</li> <li>実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えた。</li> <li>区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応した。</li> <li>必要時に応じては障害、軽度発達障害の専門機関と連携を取った。</li> </ul>

(6) 開設時間 9時～17時（お休み：土・日・祝 年末年始）

(7) 収入内訳	乳幼児一時預かり補助金	10,896,590円
	一時預かり保育料	5,335,200円
	市外・時間外保育料等	334,950円
	認可外助成金	20,600円

月	主な活動
4月	歌→チューリップ 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→こいのぼり 避難訓練 4/28 身体測定 4/24～28
5月	歌→おはながわらった 手遊び→はじまるよ 製作→変身アンパンマン 避難訓練 5/29 身体測定 5/29～31
6月	歌→こたりのうた 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→傘 避難訓練 6/21 身体測定 6/29～30
7月	歌→シャボン玉 手遊び→おおきくなったらなんになる 製作→スイカ 避難訓練 7/25 身体測定 7/25～31
8月	歌→飛んでったバナナ 手遊び→ピクニック 製作→魚とクラゲ 避難訓練 8/3 身体測定 8/28～31
9月	歌→とんぼのメガネ 手遊び→3匹の子ブタ 製作→いもむしくん 避難訓練 9/22 身体測定 9/25～30
10月	歌→虫の声 手遊び→秋の実ケーキ 製作→ハロウィンキャンディーBOX 避難訓練 10/31 身体測定 10/26～31
11月	歌→どんないろがすき 手遊び→クリスマスケーキ 製作→クリスマスリース 区民祭り 11/11 避難訓練 11/10 身体測定 11/27～30
12月	歌→あわてんぼうのサンタクロース 手遊び→もみのき 虹のふれあいコンサート 12/2 製作→だるまさん 避難訓練 12/28 身体測定 12/25～27
1月	歌→北風小僧の寒太郎 手遊び→おにのパンツ 製作→鬼パペット 避難訓練 1/17 身体測定 1/29～31
2月	歌→たきび 手遊び→のねずみぶたのとうさん 製作→おひなさま 避難訓練 2/27 身体測定 2/26～28
3月	歌→やぎのゆうびん屋さん 手遊び→ちよきちよきダンス 製作→ひらひらちょうちょ 避難訓練 3/ 身体測定 3/26～3/30

## 小規模保育事業 チューリップ保育室

**(1) 事業内容**

事業名称 小規模保育事業 チューリップ保育室  
 対 象 0歳児～2歳児

**(2) 所在地** 横浜市栄区桂町 275-21

Tel・Fax 045-894-1214

**(3) 職 員** 15名

職名	保育士	その他
常勤	2	0
非常勤	8	2
調理	3	0

**(4) 開所日・保育定員**

開所日	月曜日から土曜日（日曜日、祝祭日、年末年始を除く）
利用定員	19人
定員内訳	0歳児…7名、1歳児…7名、2歳児…5名

※月別の詳細は以下票を参照

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	3	3	5	5	5	5	5	7	7	7	7	7
1歳児	5	5	5	6	6	6	6	7	7	7	7	7
2歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	12	12	14	15	15	15	15	18	18	18	18	18

**(5) 保育理念・保育方針**

保育理念

- ・子ども達が主役。自然に触れ合い、一人ひとりの遊びや興味を大切にします。

保育方針

- ・子どもの生きる力を大切にします。
- ・子どものつながる力、支え合う力を大切に。

**(6) 開所時間** 月曜日から金曜日午前7時45分～午後18時45分まで  
 土曜日 午前7時45分～午後15時45分まで

**(7) 利用料（利用者負担）** 保護者が居住する市町村が定める利用料

## (8)年間行事計画

月	主な活動	その他
4月	お花見(4/5)・お誕生日会(4/12) 避難訓練(4/24)	ミーティング・研修 カンファレンス
5月	子どもの日(5/1) 避難訓練(5/25)	ミーティング カンファレンス
6月	歯科検診(6/15)・じゃがいも掘り(6/14) 健康診断(6/20)・お誕生日会(6/12) 避難訓練(6/28)	ミーティング・研修 カンファレンス
7月	七夕(7/7)・水遊び 避難訓練(7/26)	ミーティング カンファレンス
8月	水遊び・お誕生日会(8/20) 避難訓練(8/25)	ミーティング・研修 カンファレンス
9月	お月見(9/7)・お誕生日会(9/15) 避難訓練(9/21)	ミーティング カンファレンス
10月	新園にて保育開始(10/1)・お誕生日会(10/26) 避難訓練(10/21)	ミーティング・研修 カンファレンス
11月	さつまいもほり・大根掘り(11/15) お誕生日会 (11/5) 避難訓練(11/17)・保育交流会(11/28) 個人面談 (11/24~11/28)	ミーティング カンファレンス
12月	虹のふれあいコンサート(12/2) お楽しみ会(12/19)・避難訓練(12/25)	ミーティング・研修 カンファレンス
1月	お正月遊び(1/5)・お誕生日会(1/7)・歯科健診 (1/18)	ミーティング カンファレンス
2月	節分(2/1)・避難訓練(2/26)	ミーティング・研修 カンファレンス
3月	ひなまつり(3/3)・健康診断(3/1) 個人面談(3/6) お誕生日会(3/15)・避難訓練(3/23)・卒園児お別 れ会(3/27)・転園児お別れ会(3/30)	ミーティング カンファレンス

## 栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

### (1) 事業内容

事業名称 栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

対 象 中・高校生世代を中心とした青少年

### (2) 所在地

横浜市栄区桂町 711 番地 「さかえ次世代交流ステーション」 2階

TEL・fax 045-898-1400

### (3) 職員 2名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	0	2

### (4) 年間利用者数

活動日数	日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)
利用者数	4,881人
平均利用者数	24.41人/日

※月別の詳細は以下の表を参照

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日 平均	率 (%)
開所日数	16日	16日	17日	18日	18日	17日	17日	16日	15日	16日	16日	18日	200日		
未就学児	1	5	9	1	4	3	5	7	8	4	6	17	70	0.35	1
小学生	73	132	159	319	241	237	270	229	193	171	197	272	2,493	12.47	51.1
中学生	94	54	77	76	85	56	76	90	67	48	69	167	959	4.8	20
高校生	104	62	65	87	45	41	52	34	44	50	50	55	689	3.45	14.1
その他学生	1	1	5	0	0	0	2	3	1	1	1	3	18	0.09	0.4
青少年計	273	254	315	483	375	337	405	363	313	274	323	514	4,229	21.15	87
大人	20	37	40	42	45	58	56	58	52	67	55	122	652	3.26	13
合計	293	291	355	525	420	395	461	421	365	341	378	636	4,881	24.41	100

### (5) 運営方針

#### 青少年の地域活動拠点事業の理念

**事業目的** 学校や地域等の支援や協力を得ながら、中・高校生世代の青少年が安心して集う場や様々な体験交流の場を提供することで、青少年の成長を支援することを目的とする。

### (6) 開設時間

火・水・金曜日 14時30分～19時30分 (冬時間 14時～19時)

土曜日 10時～18時 (休館日：日・月・木・祝 年末年始)

### (7) 収入内訳

カフェ利用料、プログラム参加費、おまつり等収入 405,034円 (入館料無料)

横浜市補助金 3,990,000円

(8) 年間活動報告

活動内容		
月	月毎	年間
4月	進級&入学祝い たこ焼き 13名	●青少年の学習支援事業 毎週火曜日を中心に、地域のボランティアの協力の下、学習支援を行った。 44回 174名
5月	母の日の小物作り 4名	
6月	花壇の手入れ 随時	●体験活動事業 地域の団体や個人の指導で、様々な体験活動を行った。 陶芸 1回 16名 調理 7回 35名 書道 2回 20名 アート 46回 371名
7月	中学生ボランティア募集 区内全中学校へ配布 花壇の手入れ 随時 にこりんく ふれあい交流 3名	
8月	陶芸体験 16名 桂山公園プレイパーク ボランティア 10名	
9月	ステーションまつり ボランティア 13名 ダンス (ぬこ) 2名 team FRIENDS 15名 さかえ竹の鼓 KIDS ♪ 14名	●自主活動事業 利用者や区内の中学校に向けてボランティアを募集し、様々な活動を行った。 プレイパーク 10名 (再掲) にこりんくと交流 3名 ステーションまつり 13名 (再掲) 栄区民まつり 12名 (再掲) SAKAE ヤングフェスティバル 10名
10月	フレンズ☆SAKAE 通信&ボランティア募集 区内全中学校へ配布 (3,200部) 青少年指導員協議会、民生委員・主任児童委員へ配布	●自己表現ワークショップ ダンスやデザインの自己表現ワークショップを行った。 陶芸 1回 16名 (再掲) team FRIENDS (ダンス) 34回 442名
11月	栄区民まつり 中高生ボランティア 12名	
12月	にこりんく虹のふれあいコンサート (ダンス) 10名 書道体験 13名	●ティーンズクリエイション ワークショップ参加 3回 5名 企画会議参加 8名 作品参加 黒板アート 1名 藍染Tシャツ 2名 バングル 1名 食品サンプル 2名 コメント作成 3名 文化祭参加 2日 10名  ●その他の活動 パラトリエンナーレ レースのあみあみ 4回 22名 egao フェスティバル ぬりえ 4回 23名 さかえ竹の鼓 K I D ♪ の活動支援  法人子育て部門 ミーティング・研修(第4月曜日)
1月	書道体験 7名	
2月	栄村の地図作り 3名	
3月	SAKAE ヤングフェスティバル 栄村物産販売&ワークショップ 176名 ステージ team FRIENDS 15名	